

DATA PROJECTOR

データプロジェクター

XJ-F20XN/XJ-F200WN/ XJ-F210WN

ネットワーク機能ガイド

- 必ず「セットアップガイド」に掲載されている「安全上のご注意」および「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みにになった後も大切に保管してください。
- 本書の最新版は下記ウェブサイトに掲載されています。
<http://world.casio.com/manual/projector/>

- DLPは、米国テキサス・インスツルメンツ社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Mac OSは、Apple, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- XGAは、米国IBM Corp. の登録商標です。
- PJLinkは、日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
- Crestronは米国Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。
- AMXは米国AMX LLCの登録商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの技術を使用しています。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本製品使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理などに起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されている表示画面は、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。

目次

ネットワーク機能の概要	7
ネットワーク機能でできること	7
ネットワーク機能の利用に必要なソフトウェアについて	8
本書の説明範囲について	8
LAN接続でパソコンの画面を投映する	9
LAN接続から投映までの作業の流れ	9
プロジェクターに無線アダプターを接続する	10
プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続する	12
無線LAN接続の概要	12
プロジェクターの内蔵SSID(簡単接続SSIDまたは汎用SSID)を使って 無線LAN接続する	13
プロジェクターの簡単接続 SSID を使って無線 LAN 接続し投映するには	13
プロジェクターの汎用 SSID を使って無線 LAN 接続し投映するには	16
ユーザーSSIDを使って無線LAN接続する	19
ユーザー SSID を作成するには	19
ユーザー SSID を使って無線 LAN 接続し投映するには	22
プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続したまま プロジェクターを外部ネットワークに接続する	24
プロジェクターとパソコンを直接無線 LAN 接続したまま プロジェクターを無線 LAN アクセスポイントに接続するには	25
プロジェクターとパソコンを直接無線 LAN 接続したまま プロジェクターをルーターに有線 LAN 接続するには	27
無線LANアクセスポイントを介してプロジェクターと パソコンを接続する	28
接続の概要	28
接続の操作	29
無線 LAN アクセスポイントにプロジェクターを接続するには	29
無線 LAN アクセスポイント経由でプロジェクターとパソコンを 接続し投映するには	32

プロジェクターとパソコンを有線LANで接続する	34
有線LAN接続の概要	34
有線LAN接続の操作	35
プロジェクターとパソコンを直接 LAN ケーブルで接続し投映するには	35
ルーターを介してプロジェクターとパソコンを 有線 LAN 接続し投映するには	37
Network Connectionを使う	38
Network Connectionウィンドウ	38
Network Connectionの各種操作	39
Network Connectionのボタン操作	39
Network Connectionのファンクションメニュー操作	40
パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力する	41
ビデオストリーミング投映を行う	41
ビデオストリーミング投映を行うには	42
スマートデバイスからパソコンをリモート操作する (PCリモート)	43
PC リモートを開始するには	43
PC リモートを終了するには	43
その他のNetwork Connection操作	44
現在の無線 LAN 接続を切断して無線 LAN 接続し直すには	44
Network Connection が記憶している接続先情報 (パスフレーズ) を 消去するには	44
プロジェクターのネットワーク設定	45
プロジェクターの設定メニューを使う	45
有線 LAN 情報を表示するには	46
無線 LAN 情報を表示するには	46
SSID を変更するには	47
IP 設定を変更するには	48
ネットワーク設定を初期化するには	49

プロジェクター管理ページを使う	50
無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン	51
無線 LAN 接続でプロジェクター管理ページにログインするには	51
有線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン	52
有線 LAN 接続でプロジェクター管理ページにログインするには	52
プロジェクターの IP アドレスを基準にパソコンの	
IP アドレスを変更して有線 LAN 接続するには	53
パソコンの IP アドレスを基準にプロジェクターの	
IP アドレスを変更して有線 LAN 接続するには	54
ルーターを介してプロジェクターとパソコンを有線 LAN 接続するには	55
プロジェクター管理ページにログインした後の各種操作	55
システム状態を表示するには	55
コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには	56
ネットワーク設定ページのネットワーク関連設定を変更するには	57
プロジェクター管理ページへのログインパスワードを変更するには	58
プロジェクター管理ページに含まれるすべての設定を初期化するには	59
Crestron コントローラーと接続するための情報を入力するには	59
プロジェクター管理ページからログアウトするには	59
LAN接続でプロジェクターをリモート操作する	60
LAN 接続したパソコンからプロジェクターをリモート操作するには	60
コントロールパネルページのリモート操作関連項目一覧	61

プロジェクターのファイルビューアー関連操作.....62

プロジェクターの内蔵メモリーにファイルをアップロードする	62
ファイル転送ページへのログイン	62
無線 LAN 接続でファイル転送ページにログインするには	62
有線 LAN 接続してファイル転送ページにログインするには	63
ファイル転送ページからログアウトするには	63
ファイル転送ページへのログインパスワードを変更するには	64
ファイル転送ページを使った操作	65
プロジェクターのファイルビューアーを操作する	66
Viewer Controlページを表示する	66
無線 LAN 接続で Viewer Control ページを表示するには	66
有線 LAN 接続して Viewer Control ページを表示するには	67
Viewer Control ページからプロジェクターのトップページに戻るには	67
Viewer Controlページを使った操作	67

補足情報.....68

トークンウィザードを使う68

 USB メモリーに Network Connection をインストールするには.....68

 USB トークンを使ってパソコンをプロジェクターに無線 LAN 接続するには69

各種機器からの無線LAN接続による投映について69

 Mac OSからNetwork Connectionを使って投映する 69

 スマートデバイスからC-Assistを使って投映する 69

 スマートデバイスからMobiShowを使って投映する 70

トラブルシューティング71

 プロジェクターとパソコンの無線LAN接続について 71

 プロジェクター管理ページについて 71

 ファイル転送ページについて 72

ネットワーク機能の概要

ネットワーク機能でできること

- **プロジェクターにパソコンを無線LAN接続し、パソコン画面をプロジェクターから投映**
ケーブル接続なしで、パソコンの画面をプロジェクターから投映することができます。プロジェクターを無線LANアクセスポイントに接続すれば、パソコンを外部ネットワーク(インターネット/イントラネット)に接続しながら投映することも可能です。
- **プロジェクターにパソコンを有線LAN接続し、パソコン画面をプロジェクターから投映**
プロジェクターとパソコンを直接、または間にルーターを挟んで有線LAN接続し、パソコンの画面をプロジェクターから投映することができます。投映中にパソコンを外部ネットワーク(インターネット/イントラネット)に接続することも可能です。
- **LAN接続で4台のパソコン画面を同時投映**
プロジェクターの投映画面を4分割し、プロジェクターとLAN接続している4台のパソコンの画面を同時に投映することが可能です。
- **LAN接続でパソコンのメイン画面または拡張画面を投映 (Network Connection)**
ノートパソコンのディスプレイに表示中のデスクトップを右方向に拡張した領域を、拡張画面としてプロジェクターから投映することができます。
- **LAN接続で動画の再生映像だけを別画面として投映 (Network Connection)**
パソコンからプロジェクターに動画データをLAN経由で送信して、動画の再生映像だけをプロジェクターから投映することができます。
- **LAN接続でパソコンの音声も出力 (Network Connection)**
パソコンの画面だけでなく、パソコンの音声もプロジェクターから出力可能です。
- **LAN接続でパソコンからプロジェクターの内蔵メモリーにファイルを転送**
プロジェクターのファイルビューアーで再生するための各種ファイルを、パソコンからプロジェクターの内蔵メモリーにLAN経由で転送することが可能です。
- **LAN接続でパソコンからプロジェクターをリモート操作**
入力ソース切り替えなど、プロジェクターの通常操作をLAN接続したパソコンから実行することができます。



メモ

- Network Connectionについては下記「ネットワーク機能の利用に必要なソフトウェアについて」を参照してください。

ネットワーク機能の利用に必要なソフトウェアについて

プロジェクターとLAN接続する機器に応じて、次のソフトウェアが必要です。

機器	ソフトウェア
Windowsを搭載したパソコン	Network Connection (Windows版)
MacOSを搭載したパソコン	Network Connection (Mac OS版)

ソフトウェアは、下記の弊社ウェブサイトからダウンロードしてご使用ください。

<http://casio.jp/support/projector/>

[カシオホーム – お客様サポート – プロジェクター]



重要

- ご使用の機器にソフトウェアをインストールする前に、必ず弊社ウェブサイトに掲載されているソフトウェアの動作環境、ダウンロードおよびご使用の条件、その他のご注意をご確認ください。
- ソフトウェアのインストール方法については、ソフトウェアのダウンロードページをご覧ください。

本書の説明範囲について

本書はWindowsパソコン(Network Connection)を使用する場合の操作方法を説明しています。

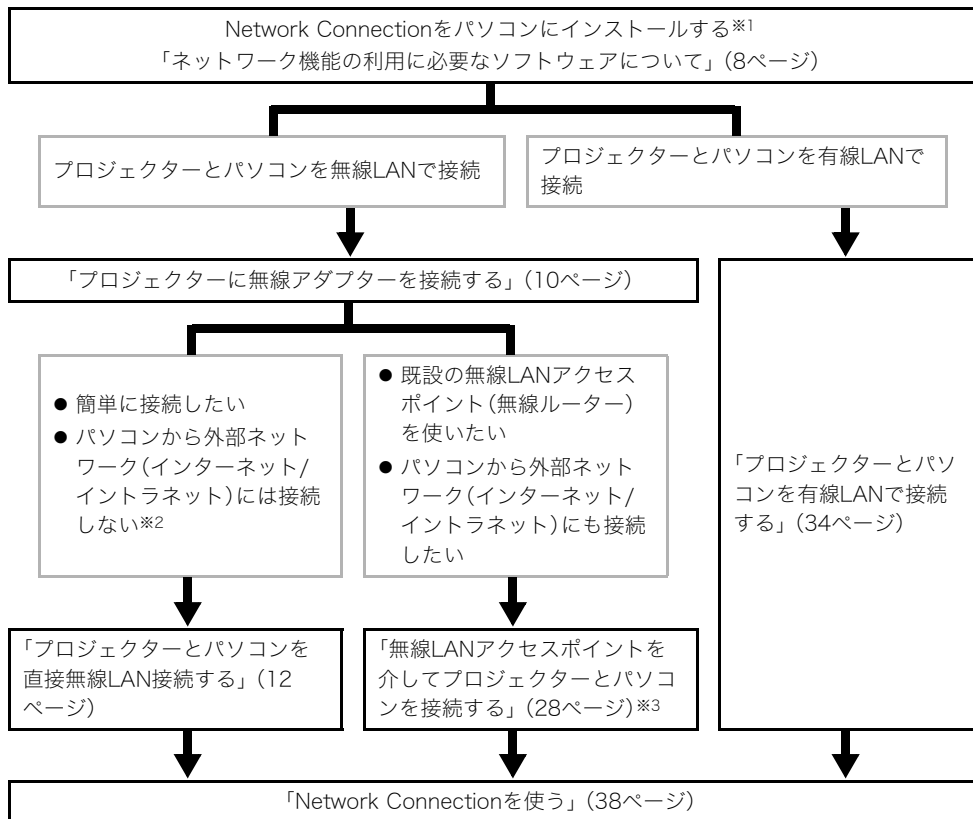
その他の機器を使用する場合については、各ソフトウェアのダウンロードページから入手可能なソフトウェアの操作説明書をご覧ください。

LAN接続でパソコンの画面を投映する

ここでは、プロジェクターとパソコンをLAN接続し、パソコン画面をプロジェクターから投映するまでの操作を説明します。

LAN接続から投映までの作業の流れ

プロジェクターとパソコンをLAN接続する方法がいくつかあります。下記のフローチャートに従って、必要な操作を行ってください。



※1 Network Connectionを1台のパソコンにインストールした後は、そのパソコンを使って「USB トークン」を作成することで、2台目以降のパソコンではUSBトークンでプロジェクターとLAN接続することも可能です。詳しくは「トークンウィザードを使う」(68ページ)を参照してください。

※2 プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続したあとで、プロジェクターを中継してパソコンを外部ネットワーク(インターネット/イントラネット)に接続することは可能です。「プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続したままプロジェクターを外部ネットワークに接続する」(24ページ)を参照してください。

※3 この接続を行うには、いったんプロジェクターとパソコンを直接LAN接続し、プロジェクターを無線LANアクセスポイントに接続する設定を行うことが必要です。

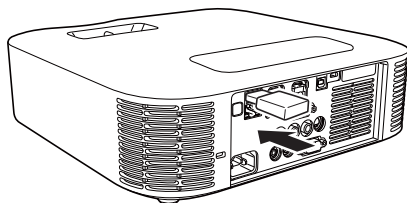
プロジェクターに無線アダプターを接続する



重要

- 本機には無線アダプターは付属していません。無線アダプターは、必ず別売品のYW-40をご使用ください。
- 無線アダプターYW-40は、本機以外の機器には接続しないでください。

無線アダプターYW-40を、プロジェクターのUSB-A端子に下図のように差し込みます。



設定メニューの「プラグアンドプレイ」が「オン」の場合は、プロジェクターに無線アダプターを接続すると、次のように動作します。

● プロジェクターの電源が入っているときに無線アダプターを取り付けた場合

接続すると同時に、自動的に入力ソースが「ネットワーク」に切り替わり、LAN接続の待機画面が投映されます。

● 無線アダプターを取り付けた後でプロジェクターの電源を入れた場合

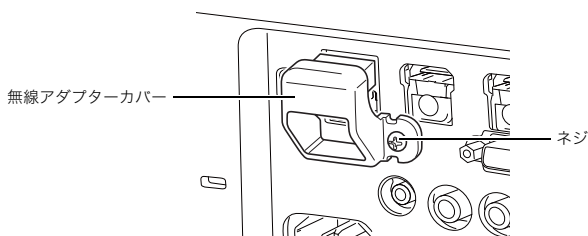
プロジェクターが起動すると、自動的に入力ソースが「ネットワーク」に切り替わり、LAN接続の待機画面が投映されます。



LAN接続の待機画面(Network Presentation System画面)

無線アダプターカバー(YW-40付属品)について

プロジェクターに無線アダプターを装着した後で、必要に応じて無線アダプターカバー(盗難防止用カバー)を取り付けてください。取り付けるには、下図のように無線アダプターカバーを無線アダプターにかぶせて、ネジ留めしてください。



注意

無線アダプターや無線アダプターカバーを、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
誤って飲み込んで窒息したり、傷害などの原因となる場合があります。

プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続する

無線LAN接続の概要

パソコンにインストールしたNetwork Connectionを使ってプロジェクターが発信するSSIDを検索し、プロジェクターとパソコンを無線LAN接続します。

SSIDのタイプ

プロジェクターのSSIDには次の3つのタイプがあり、それぞれ接続方法や必要な操作が異なります。

SSIDのタイプ	解説	該当するSSID
簡単接続SSID※1 (内蔵)	Windowsパソコン上のNetwork Connectionを使ってプロジェクターに無線LAN接続するための専用SSIDです。プロジェクターにプリセットされており、名前や設定内容は変更できません。特別な設定操作をせずに、簡単にプロジェクターとパソコンを無線LAN接続することが可能です。	casiolpj0001 casiolpj0002 casiolpj0003 casiolpj0004
汎用SSID※1※2 (内蔵)	接続時にパスフレーズの入力を要求するタイプのSSIDです。プロジェクターにプリセットされており、名前や設定内容は変更できません。	casiolpj0101※3 casiolpj0102 casiolpj0103 casiolpj0104
ユーザーSSID※2 (作成が必要)	プロジェクターにプリセットされているSSIDとは別に、ユーザー自身が作成します。ユーザーSSIDは、1つだけ作成できます。暗号化方式の選択や接続時のパスフレーズ指定を行うことが可能です。	casiolpj0<任意の文字列>

※1 「WPA-PSK AES」という暗号化方式で無線LAN通信を行っており、比較的高いセキュリティが確保されています。プロジェクターとパソコンが無線LAN通信する際のデータは、プロジェクターの内蔵パスフレーズとログインコードによって暗号化される仕組みになっています。

※2 これらのSSIDは、MacOSを搭載したパソコンやスマートデバイス(Android、iOS)をプロジェクターに無線LAN接続するのに使用することも可能です。「各種機器からの無線LAN接続による投映について」(69ページ)を参照してください。

※3 初期設定のSSIDです。

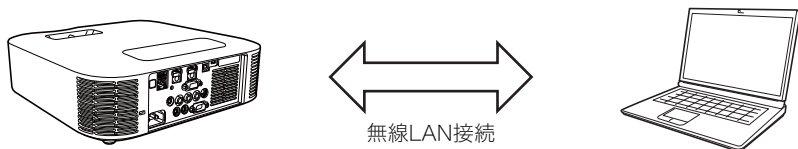
無線LAN接続と投映について

1台のプロジェクターに同時に最大8台まで、パソコンを無線LAN接続することが可能です。ただし無線LAN接続していても、投映が可能なパソコンは基本的には1台(投映画面全体を使って投映する場合)で、最大でも4台まで(投映画面を4分割して投映する場合)です。

接続後のパソコンからの投映操作について詳しくは、「Network Connectionを使う」(38ページ)を参照してください。

プロジェクターの内蔵SSID(簡単接続SSIDまたは汎用SSID)を使って無線LAN接続する

ここではNetwork Connectionを使ってプロジェクターの内蔵SSID(簡単接続SSIDまたは汎用SSID)を検索し、プロジェクターとパソコンを無線LAN接続する操作を説明します。ここで説明する操作では、プロジェクターとパソコンの無線LAN接続が確立すると同時に、プロジェクターからパソコン画面の投射が開始されます。



プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投射するには

プロジェクターの操作

1. プロジェクターに無線アダプターを接続し(10ページ)、電源を入れる。
2. [INPUT]キーを押して「入力」ダイアログを表示する。
3. [▼]または[▲]キーを使って「ネットワーク」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - 入力ソースが「ネットワーク」に切り替わり、LAN接続の待機画面が投射されます。
4. [MENU]キー→「ネットワーク設定」→「本機の無線LAN設定」→「SSID」の順に選択し、表示されるダイアログで「casio!pj0001」、「casio!pj0002」、「casio!pj0003」、「casio!pj0004」のいずれかを選択する。
5. [ESC]キーを2回押して「ネットワーク設定」に戻る。
6. [▼]キーを使って「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - ネットワーク設定を更新してよいか確認するダイアログが表示されます。
7. [▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - SSIDの変更がプロジェクターに適用され、ダイアログが消えます。LAN接続の待機画面が再び投射されるまでお待ちください。
 - 近くで複数台のプロジェクターを同時に使う場合は、各プロジェクターで異なるSSIDを選択してください。

8. Network Connectionを起動する。

- Network Connectionウィンドウが現れ、「接続中」というメッセージが表示されます。



- Windows Vista、7、8、8.1または10をご使用の場合で「ネットワークの場所の設定」ダイアログが表示されたときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。
- 接続先のプロジェクターが見つかると、次のいずれかのダイアログが表示されます。

このダイアログが表示された場合:	現在の状態:	この手順に進む:
「プロジェクター一覧」	接続可能なプロジェクターが複数台見つかった	手順9
「ログインコードを入力してください。」	接続可能なプロジェクターが1台だけ見つかった	手順10

9. 接続したいプロジェクターのSSIDをクリックして選択し、[OK]をクリックする。



10. 表示される「ログインコードを入力してください。」ダイアログで、ユーザー名とログインコードを入力する。



- 「ユーザー名」欄には、12文字以内で自由な名前を入力してください。ここで入力したユーザー名は、投映画面上にユーザー名を表示するときに使われます。
- 「ログインコード」欄には、投映画面（LAN接続の待機画面）左上の4桁の数字を入力してください。

11. 入力が済んだら、[OK]をクリックする。

- プロジェクターとパソコンが無線LANで接続されると、Network Connectionウィンドウが次のような表示になり、パソコン画面(メイン画面)がそのまま投映されます。



- Network Connectionウィンドウを使った操作について詳しくは、「Network Connectionを使う」(38ページ)を参照してください。

12. 無線LAN接続を切断しパソコン画面の投映を終了するには、Network Connectionウィンドウ右上の[X]をクリックする。

- Network Connectionウィンドウが閉じ、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。



メモ

- ログインコードは、プロジェクターを起動するたびに新しい数字に更新されます。上記の手順で接続を行うたびに投映画面でログインコードを確認し、そのつど正しいログインコードを入力してください。
- 上記の手順8でプロジェクターが見つからなかった場合は、Network Connectionのウィンドウの表示が次のように変わります。



この場合は次のことを確認したうえで[再接続]をクリックし、手順8から操作をやり直してください。

- プロジェクターに無線アダプターが正しく接続されていること。
「プロジェクターに無線アダプターを接続する」(10ページ)を参照してください。
- プロジェクターの電源が入っており、LAN接続の待機画面が投映されていること。
- LAN接続の待機画面の左下に表示されているSSIDが、「casio!pj0001」、「casio!pj0002」、「casio!pj0003」、「casio!pj0004」のいずれかであること。
異なるSSIDが表示されている場合は、手順4から操作を行ってください。

プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには

プロジェクターの操作

1. プロジェクターに無線アダプターを接続し(10ページ)、電源を入れる。
2. [INPUT]キーを押して「入力」ダイアログを表示する。
3. [▼]または[▲]キーを使って「ネットワーク」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - 入力ソースが「ネットワーク」に切り替わり、LAN接続の待機画面が投映されます。
4. [MENU]キー→「ネットワーク設定」→「本機の無線LAN設定」→「SSID」の順に選択し、表示されるダイアログで「casio1pj0101」、「casio1pj0102」、「casio1pj0103」、「casio1pj0104」のいずれかを選択する。
 - 初期設定を変更しておらず、プロジェクターを1台だけ使用する場合は、この操作は必要ありません(初期設定のSSIDは「casio1pj0101」です)。手順8に進んでください。
5. [ESC]キーを2回押して「ネットワーク設定」に戻る。
6. [▼]キーを使って「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - ネットワーク設定を更新してよいか確認するダイアログが表示されます。
7. [▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - SSIDの変更がプロジェクターに適用され、ダイアログが消えます。LAN接続の待機画面が再び投映されるまでお待ちください。
 - 近くで複数台のプロジェクターを同時に使う場合は、各プロジェクターで異なるSSIDを選択してください。

8. Network Connectionを起動する。

- Network Connectionウィンドウが現れ、「接続中」というメッセージが表示されます。



- Windows Vista、7、8、8.1または10をご使用の場合で「ネットワークの場所の設定」ダイアログが表示されたときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。
- 接続先のプロジェクターが見つかると、次のいずれかのダイアログが表示されます。

このダイアログが表示された場合:	現在の状態:	この手順に進む:
「プロジェクター一覧」	接続可能なプロジェクターが複数台見つかった	手順9
「パスフレーズまたはWEPキーを入力してください。」	接続可能なプロジェクターが1台だけ見つかった	手順10

9. 接続したいプロジェクターのSSIDをクリックして選択し、[OK]をクリックする。



10. 表示される「パスフレーズまたはWEPキーを入力してください。」ダイアログで、ユーザー名とパスフレーズを入力する。



- 「ユーザー名」欄には、12文字以内で自由な名前を入力してください。ここで入力したユーザー名は、投映画面上にユーザー名を表示するときに使われます。
- 「パスフレーズ/WEPキー」および「確認」欄には両方とも、接続先プロジェクターのSSIDに応じて次の文字列を入力してください。

接続先プロジェクターのSSID	入力する文字列(パスフレーズ)
casio!pj0101	casio!pj01
casio!pj0102	casio!pj02
casio!pj0103	casio!pj03
casio!pj0104	casio!pj04

11. 入力が済んだら、[OK]をクリックする。

- 次のようなダイアログが表示されます。



12. 「ログインコード」欄に、投映画面(LAN接続の待機画面)左上の4桁の数字を入力する。

- 「ユーザー名」欄には手順10で入力したユーザー名が表示されるので、そのままにして構いません。

13. 入力が済んだら、[OK]をクリックする。

- プロジェクターとパソコンが無線LANで接続されると、Network Connectionウィンドウが次のような表示になり、パソコン画面(メイン画面)がそのまま投映されます。



- Network Connectionウィンドウを使った操作について詳しくは、「Network Connectionを使う」(38ページ)を参照してください。

14. 無線LAN接続を切断しパソコン画面の投映を終了するには、Network Connectionウィンドウ右上の[X]をクリックする。

- Network Connectionウィンドウが閉じ、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。

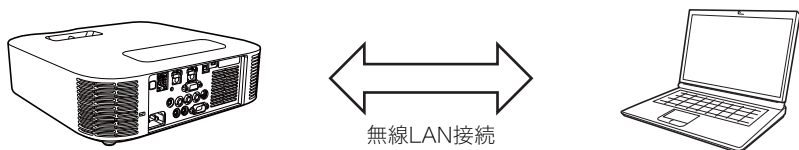


メモ

- 上記の操作を行った後で、同じパソコンとプロジェクター(SSIDを変更していないこと)の組み合わせで再度無線LAN接続する場合は、Network Connectionが前回接続時のパスフレーズを記憶しているため、パスフレーズの入力は不要になります。
- 汎用SSIDを使った無線LAN接続時に、ログインコードの入力を省略するように設定することが可能です。設定方法については、「コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには」(56ページ)を参照してください。

ユーザーSSIDを使って無線LAN接続する

特定のセキュリティ方式を選んで無線LAN接続したい場合やセキュリティを強化したい場合、逆にセキュリティを設定しない(パスフレーズやログインコードなしで接続できるようにする)場合は、ユーザーSSIDを作成し、そのSSIDを使って無線LAN接続します。



重要

- ユーザーSSIDを作成するには、いったんプロジェクターとパソコンを何らかの方法でLAN接続することが必要です。
- プロジェクターが一度に保持できるユーザーSSIDは1つだけです。下記「ユーザーSSIDを作成するには」の操作を行うたびに、前回作成したユーザーSSIDは上書きされます。

ユーザーSSIDを作成するには

1. 次のいずれかの操作を行って、プロジェクターとパソコンをLAN接続する。

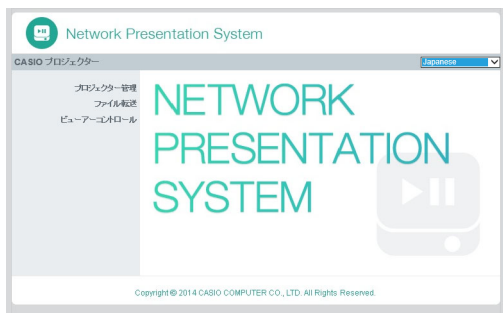
- 「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)の手順1～11
- 「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)の手順1～13
- 「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)の手順1～13(すでにユーザーSSIDを作成済みの場合)
- 「プロジェクターとパソコンを直接LANケーブルで接続し投映するには」(35ページ)の手順1～9

2. Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、表示されるメニューから[管理画面]を選ぶ。

ファンクションメニューボタン



- Webブラウザが起動し、プロジェクターのトップページが表示されます。



3. 左ペインの「プロジェクター管理」をクリックし、表示されるパスワード入力画面でパスワードを入力する。

- パスワードの初期設定は「admin」です。

4. [ログイン]をクリックする。

- 正常にログインすると、「システム状態」ページが表示されます。

5. 左ペインの「ネットワーク設定」をクリックする。

- 「ネットワーク設定」ページが表示されます。

- ユーザーSSIDを作成するために入力や指定が必要なのは、枠線内の各項目です。その他の項目は変更不要です。
- 本ページについての詳細は、「ネットワーク設定ページのネットワーク関連設定を変更するには」(57ページ)を参照してください。

6. 「SSID」欄に、ユーザーSSIDとして使いたい文字列を入力する。

- 「casioipj0<任意の文字列>」がユーザーSSIDとなります。
- 任意の文字列を半角英数字23文字以内で入力してください。ただし「001」、「002」、「003」、「004」、「101」、「102」、「103」、「104」は使えません(プロジェクターの簡単接続SSIDや汎用SSIDと同じになるため)。

7. 無線LAN通信の暗号化方式を選ぶ。

- 「セキュリティ」欄右端の[▼]をクリックし、表示されるドロップダウンリストから希望する暗号化の方式を選んでください。各選択肢の意味は、次のとおりです。

選択肢	意味
WPA-PSK AES	WPA-PSK方式による通信の暗号化を行います。WPA(Wi-Fi Protected Access)は、通信内容を暗号化するセキュリティ機能の一種です。
WPA2-PSK AES	WPA2-PSK方式による通信の暗号化を行います。WPA2は、WPAの新規格です。
無効	無線LAN接続のセキュリティをオフにします(通信を暗号化しません)。

8. パスフレーズを入力する。

- 「パスフレーズ/WEKキー」の入力欄に、手順7で選択した暗号化方式に応じて、パスフレーズを次の要領で入力します。

セキュリティ	入力する文字列
WPA-PSK AES	WPA-PSKまたはWPA2-PSKのパスフレーズを入力します。8文字以上63文字以下の半角英数字、または64桁の16進数が入力できます。 例: MyKey123(8文字の半角英数字)
WPA2-PSK AES	1111222233334444555566667777888899990000AAAABBBBCCCC DDDDDEEEFFFF(64桁の16進数)
無効	何も入力する必要はありません。

- パスフレーズとして入力した文字は、「****」のように表示されます。入力した文字そのものを表示して確認したい場合は、「文字を隠す」チェックボックスのチェックを外します。
- 入力したパスフレーズは、ユーザーSSIDを使ってプロジェクターとパソコンを無線LAN接続する際に必要となります。入力したパスフレーズを忘れないようにご注意ください。

9. 手順6～8の内容でユーザーSSIDを作成するには、[適用]をクリックする。

- 作成したユーザーSSIDがプロジェクターに適用されます。
- プロジェクターとパソコンを無線LAN接続していた場合はプロジェクターとパソコンの無線LAN接続が切断され、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。

ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには

プロジェクターの操作

- 1. プロジェクターに無線アダプターを接続し(10ページ)、電源を入れる。
- 2. [INPUT]キーを押して「入力」ダイアログを表示する。
- 3. [▼]または[▲]キーを使って「ネットワーク」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - 入力ソースが「ネットワーク」に切り替わり、LAN接続の待機画面が投映されます。
- 4. 「ユーザーSSIDを作成するには」(19ページ)で作成したユーザーSSIDを選択する。

この場合は:	この操作を行う:
「ユーザーSSIDを作成するには」(19ページ)の操作後に、プロジェクターのSSIDを変更していない	そのまま手順8に進む。
「ユーザーSSIDを作成するには」(19ページ)の操作後に、プロジェクターのSSIDを別のSSIDに切り替えた	[MENU]キー→「ネットワーク設定」→「本機の無線LAN設定」→「SSID」の順に選択し、表示されるダイアログでユーザーSSIDを選択する。

- 5. [ESC]キーを2回押して「ネットワーク設定」に戻る。
- 6. [▼]キーを使って「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - ネットワーク設定を更新してよいか確認するダイアログが表示されます。
- 7. [▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - SSIDの変更がプロジェクターに適用され、ダイアログが消えます。LAN接続の待機画面が再び投映されるまでお待ちください。

パソコンの操作

- 8. Network Connectionを起動する。
 - Network Connectionウィンドウが現れ、「接続中」というメッセージが表示されます。



- Windows Vista、7、8、8.1または10をご使用の場合で「ネットワークの場所の設定」ダイアログが表示されたときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。
- 接続先のプロジェクターが見つかると、次のいずれかのダイアログが表示されます。

このダイアログが表示された場合:	現在の状態:	この手順に進む:
「プロジェクター一覧」	接続可能なプロジェクターが複数台見つかった	手順9
「パスフレーズまたはWEPキーを入力してください。」	ユーザーSSIDの「セキュリティ」が「無効」以外の場合で、接続可能なプロジェクターが1台だけ見つかった	手順10
「ログインコードを入力してください。」	ユーザーSSIDの「セキュリティ」が「無効」の場合で、接続可能なプロジェクターが1台だけ見つかった	手順12

9. 接続したいプロジェクターのSSIDをクリックして選択し、[OK]をクリックする。



- 「パスフレーズまたはWEPキーを入力してください。」ダイアログが表示された場合は手順10、「ログインコードを入力してください。」ダイアログが表示された場合は手順12に進んでください。

10. パスフレーズを入力する。



- 「パスフレーズ/WEPキー」および「確認」欄の両方に、ユーザーSSIDのパスフレーズ（「ユーザーSSIDを作成するには」の手順8で入力した文字列）を入力してください。

11. 入力が済んだら、[OK]をクリックする。

- 次のようなダイアログが表示されます。



12. 「ログインコード」欄に、投映画面(LAN接続の待機画面)左上の4桁の数字を入力する。

13. 入力が済んだら、[OK]をクリックする。

- プロジェクターとパソコンが無線LANで接続されると、Network Connectionウィンドウが次のような表示になり、パソコン画面(メイン画面)がそのまま投映されます。



- Network Connectionウィンドウを使った操作について詳しくは、「Network Connectionを使う」(38ページ)を参照してください。

14. 無線LAN接続を切断しパソコン画面の投映を終了するには、Network Connectionウィンドウ右上のをクリックする。

- Network Connectionウィンドウが閉じ、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。

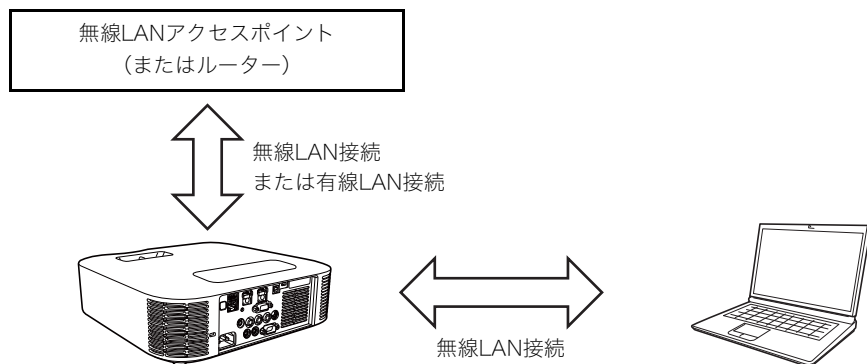


メモ

- 上記の操作を行った後で、同じパソコンとプロジェクター（SSIDを変更していないこと）の組み合わせで再度無線LAN接続する場合は、Network Connectionが前回接続時のパスフレーズを記憶しているため、パスフレーズの入力是不要になります。
- ユーザーSSIDを使った無線LAN接続時に、ログインコードの入力を省略するように設定することが可能です。設定方法については、「コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには」（56ページ）を参照してください。

プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続したままプロジェクターを外部ネットワークに接続する

プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続した状態で、プロジェクターを外部ネットワーク（インターネット/イントラネット）に接続されている無線LANアクセスポイント（またはルーター）に接続します。



重要

- この接続によって、パソコンは無線LANアクセスポイント（またはルーター）が接続しているネットワーク（インターネットまたはイントラネット）上のサービスを利用可能になります。パソコンから接続可能なネットワークの範囲は、無線LANアクセスポイント（またはルーター）に依存します。
- この接続は、無線LANアクセスポイント（またはルーター）が属するネットワーク上でDHCPサーバーが動作していることが前提となります。

プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続したままプロジェクターを無線LANアクセスポイントに接続するには

1. 次のいずれかの操作を行って、プロジェクターとパソコンを無線LAN接続する。

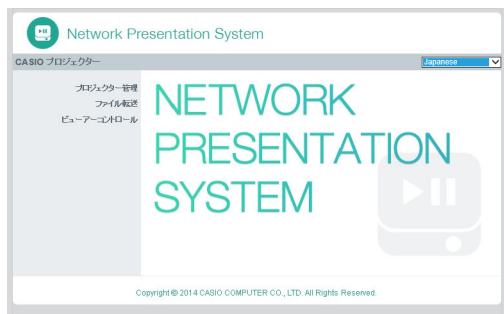
- 「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)の手順1～11
- 「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)の手順1～13
- 「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)の手順1～13(ユーザーSSIDを作成済みの場合)

2. Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、表示されるメニューから[管理画面]を選ぶ。

ファンクションメニューボタン



- Webブラウザが起動し、プロジェクターのトップページが表示されます。



3. 左ペインの「プロジェクター管理」をクリックし、表示されるパスワード入力画面でパスワードを入力する。

- パスワードの初期設定は「admin」です。

4. [ログイン]をクリックする。

- 正常にログインすると、「システム状態」ページが表示されます。

5. 左ペインの「ネットワーク設定」をクリックする。

- 「ネットワーク設定」ページが表示されます。

- ここで入力や指定が必要なのは、枠線の各項目です。その他の項目は変更不要です。
- 本ページについての詳細は、「ネットワーク設定ページのネットワーク関連設定を変更するには」(57ページ)を参照してください。

6. 「IPアドレスを自動的に取得」ボタンが○の場合は、クリックして●に切り替える。

7. 「DHCP設定」の「自動」ボタンが○の場合は、クリックして●に切り替える。

8. プロジェクターから無線LANアクセスポイントへの接続設定を行う。

- (1)「外部アクセスポイント」の「有効」ボタンが○の場合は、クリックして●に切り替える。
- (2) [アクセスポイントのスキャン]をクリックする。
 - 「外部アクセスポイントのSSID」欄に「アクセスポイントを選択して下さい。」と表示されます。
- (3)「外部アクセスポイントのSSID」欄右端の[▼]をクリックし、表示されるドロップダウンリストから接続したいアクセスポイントのSSIDを選択する。
 - [▼]をクリックすると、その時点でプロジェクターが電波を検出したアクセスポイントと、プロジェクターが以前に接続したアクセスポイント(最新の8つまで)が表示されます。
 - SSIDを手動で入力したい場合はドロップダウンリストから「キー入力でおこなう」を選び、「外部アクセスポイントのSSID」欄に直接SSIDを入力します。
- (4)「キー」欄に接続先アクセスポイントのパスフレーズまたはWEPキーを入力する。
 - 接続先アクセスポイントがパスフレーズまたはWEPキーの入力を要求しない場合は、入力不要です。
 - パスフレーズまたはWEPキーとして入力した文字は、「*****」のように表示されます。入力した文字そのものを表示して確認したい場合は、「文字を隠す」チェックボックスのチェックを外します。
- (5)接続設定を保存するには[適用]をクリックする。
 - パスフレーズまたはWEPキーが正しければ、通常は1分～数分程度でアクセスポイントへの接続が完了します。

9. プロジェクターのリモコンを使って、プロジェクターが無線LANアクセスポイントに接続されているかどうかを確認する。

(1) [MENU]キー→「ネットワーク設定」→「無線LAN情報」を選択する。

(2) 表示される無線LAN情報ダイアログの「外部APとの接続状態」を確認する。

- 「接続中」と表示されていれば、プロジェクターは無線LANアクセスポイントと接続しています。「切断中」と表示されている場合は、手順1から操作をやり直してください。
- 外部のアクセスポイントがDHCPサーバーとして動作している場合、接続完了すると、プロジェクターのIPアドレスは外部のアクセスポイントが決めた値に変わります。



メモ

- 上記の設定を行ってプロジェクターを無線LANアクセスポイントと一度接続すると、次回以降はプロジェクターの入力ソースが「ネットワーク」に切り替わるたびに、プロジェクターは自動的に同じ無線LANアクセスポイントに接続します(プロジェクターが無線LANアクセスポイントに接続可能な範囲にあり、かつ無線LANアクセスポイントやプロジェクターの設定が変更されていない場合)。

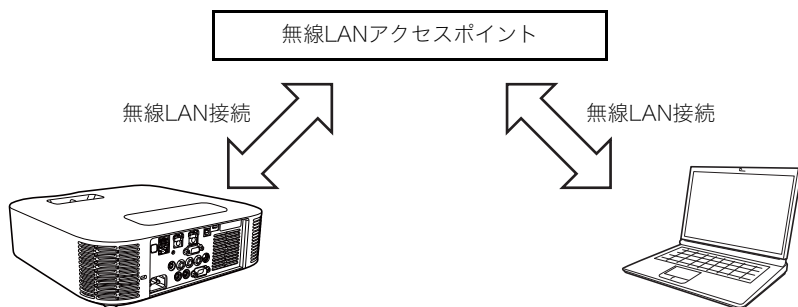
プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続したままプロジェクターをルーターに有線LAN接続するには

1. 「プロジェクターとパソコンを直接無線LAN接続したままプロジェクターを無線LANアクセスポイントに接続するには」(25ページ)の手順1～7の操作を行う。
2. 「ネットワーク設定」ページ右上の「ログアウト」をクリックし、プロジェクター管理からログアウトする。
3. プロジェクターとルーターをLANケーブルで接続する。
 - ラジオやテレビジョン受信機などの受信障害を防止するため、LANケーブルは、シールド品(STP)の使用を推奨します。

無線LANアクセスポイントを介してプロジェクターとパソコンを接続する

接続の概要

社内などにある既存の無線LANアクセスポイントにパソコンとプロジェクターの両方を接続することで、パソコンとプロジェクターをLAN接続します。



重要

- この接続によって、パソコンは無線LANアクセスポイントが接続しているネットワーク（インターネットまたはイントラネット）上のサービスを利用可能になります。パソコンから接続可能なネットワークの範囲は、無線LANアクセスポイントに依存します。
- この接続は、無線LANアクセスポイントがDHCPサーバーとして機能しているか、無線LANアクセスポイントが属するネットワーク上でDHCPサーバーが動作していることが前提となります。

無線LANアクセスポイントにプロジェクターを接続するには

1. 次のいずれかの操作を行って、プロジェクターとパソコンをLAN接続する。

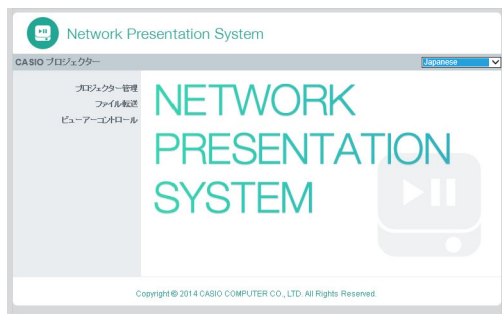
- 「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)の手順1～11
- 「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)の手順1～13
- 「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)の手順1～13(ユーザーSSIDを作成済みの場合)
- 「プロジェクターとパソコンを直接LANケーブルで接続し投映するには」(35ページ)の手順1～9

2. Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、表示されるメニューから[管理画面]を選ぶ。

ファンクションメニューボタン



- Webブラウザが起動し、プロジェクターのトップページが表示されます。



3. 左ペインの「プロジェクター管理」をクリックし、表示されるパスワード入力画面でパスワードを入力する。

- パスワードの初期設定は「admin」です。

4. [ログイン]をクリックする。

- 正常にログインすると、「システム状態」ページが表示されます。

●「ネットワーク設定」ページが表示されます。

- ここで入力や指定が必要なのは、枠線内の各項目です。その他の項目は変更不要です。
- 本ページについての詳細は、「ネットワーク設定ページのネットワーク関連設定を変更するには」(57ページ)を参照してください。

8. プロジェクターから無線LANアクセスポイントへの接続設定を行う。

- 30

(5) 接続設定を保存するには[適用]をクリックする。

- 接続設定が反映され、「アクセスポイント機能」(手順7)は「無効」に切り替わります。このため、プロジェクターとパソコンを無線LAN接続していた場合、その接続はこの時点で切断されます。
- パスフレーズまたはWEPキーが正しければ、通常は1分～数分程度でアクセスポイントへの接続が完了します。

9. プロジェクターのリモコンを使って、プロジェクターが無線LANアクセスポイントに接続されているかどうかを確認する。

(1) [MENU]キー→「ネットワーク設定」→「無線LAN情報」を選択する。

(2) 表示される無線LAN情報ダイアログの「外部APとの接続状態」を確認する。

- 「接続中」と表示されていれば、プロジェクターは無線LANアクセスポイントと接続しています。「切断中」と表示されている場合は、手順1から操作をやり直してください。
- 外部のアクセスポイントがDHCPサーバーとして動作している場合、接続完了すると、プロジェクターのIPアドレスは外部のアクセスポイントが決めた値に変わります。



メモ

- 上記の設定を行ってプロジェクターを無線LANアクセスポイントと一度接続すると、次回以降はプロジェクターの入力ソースが「ネットワーク」に切り替わるたびに、プロジェクターは自動的に同じ無線LANアクセスポイントに接続します(プロジェクターが無線LANアクセスポイントに接続可能な範囲にあり、かつ無線LANアクセスポイントやプロジェクターの設定が変更されていない場合)。

無線LANアクセスポイント経由でプロジェクターとパソコンを接続し投映するには



重要

- 以下の操作は、次のことが前提です。
 - パソコンは無線LANアクセスポイントに接続済みである。
接続方法は無線LAN接続(Wi-Fi接続)でも、有線LAN接続(LANケーブルを使った接続)でも構いません。ただし、有線LAN接続の場合は、パソコンの無線LAN機能はオフにしてください。
 - 「無線LANアクセスポイントにプロジェクターを接続するには」(29ページ)の操作によるプロジェクターの設定が済んでおり、その後無線LANアクセスポイントやプロジェクターの設定が変更されていない。
 - プロジェクターが無線LANアクセスポイントに接続可能な範囲にある。

プロジェクターの操作

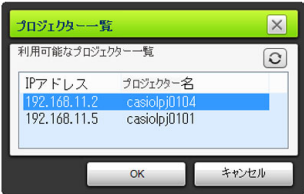
1. プロジェクターに無線アダプターを接続し(10ページ)、電源を入れる。
2. [INPUT]キーを押して「入力」ダイアログを表示する。
3. [▼]または[▲]キーを使って「ネットワーク」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - 入力ソースが「ネットワーク」に切り替わり、LAN接続の待機画面が投映されます。

パソコンの操作

4. Network Connectionを起動する。
 - Network Connectionウィンドウが現れ、「接続中」というメッセージが表示されます。
 - Windows Vista、7、8、8.1または10をご使用の場合で「ネットワークの場所の設定」ダイアログが表示されたときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。
 - 接続先のプロジェクターが見つかったら、次のいずれかのダイアログが表示されます。

このダイアログが表示された場合:	現在の状態:	この手順に進む:
「プロジェクター一覧」	ネットワーク上に接続可能なプロジェクターが複数台見つかった	手順6
「ログインコードを入力してください。」	ネットワーク上に接続可能なプロジェクターが1台だけ見つかった	手順7

5. 接続したいプロジェクターのIPアドレスをクリックして選択し、[OK]をクリックする。
 - プロジェクターのIPアドレスは、投映画面(LAN接続の待機画面)左下の「Server IP」で確認してください。



6. 表示される「ログインコードを入力してください。」ダイアログで、ログインコードを入力する。



- 「ログインコード」欄には、投映画面（LAN接続の待機画面）左上の4桁の数字を入力してください。

7. 入力が済んだら、[OK]をクリックする。

- プロジェクターとパソコンが無線LANで接続されると、Network Connectionウィンドウが次のような表示になり、パソコン画面（メイン画面）がそのまま投映されます。



- Network Connectionウィンドウを使った操作について詳しくは、「Network Connectionを使う」（38ページ）を参照してください。

8. 無線LAN接続を切断しパソコン画面の投映を終了するには、Network Connectionウィンドウ右上の[×]をクリックする。

- Network Connectionウィンドウが閉じ、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。



メモ

- 上記の方法で接続したときに、ログインコードの入力を省略するように設定することが可能です。設定方法については、「コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには」（56ページ）を参照してください。

プロジェクターとパソコンを有線LANで接続する

有線LAN接続の概要

プロジェクターとパソコンを有線LAN接続する方法は、パソコンをプロジェクターに有線LAN接続すると同時に外部ネットワークにも接続したいかどうかによって異なります。

パソコンを外部ネットワークに接続しない場合の有線LAN接続

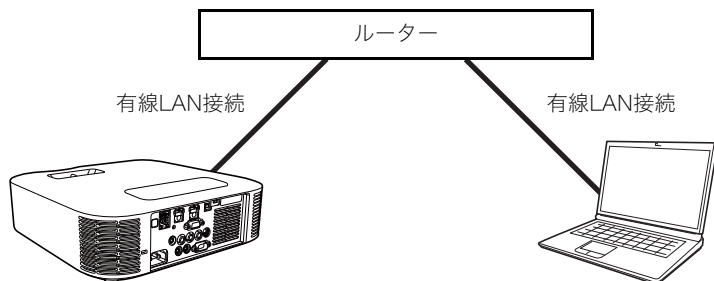
プロジェクターとパソコンをLANケーブルで接続し、双方でIPアドレスの設定を行います。



操作手順は、「プロジェクターとパソコンを直接LANケーブルで接続し投映するには」(35ページ)を参照してください。

パソコンを外部ネットワークにも接続する場合の有線LAN接続

プロジェクターとパソコンを同じルーターにLANケーブルで接続します。パソコンはルーターが接続しているネットワーク(インターネットまたはイントラネット)上のサービスを利用できます。パソコンから接続可能なネットワークの範囲は、ルーターに依存します。



操作手順は、「ルーターを介してプロジェクターとパソコンを有線LAN接続し投映するには」(37ページ)を参照してください。



重要

- ラジオやテレビジョン受信機などの受信障害を防止するため、有線LAN接続に使用するLANケーブルはシールド品(STP)の使用を推奨します。



メモ

- 有線LAN接続の操作では、Network Connectionは不要です。Network Connectionは、LAN接続後にパソコン画面をプロジェクターから投映する際に使います。

プロジェクターとパソコンを直接LANケーブルで接続し投映するには

1. プロジェクターとパソコンをLANケーブルで接続する。

- ラジオやテレビジョン受信機などの受信障害を防止するため、LANケーブルは、シールド品（STP）の使用を推奨します。

プロジェクターの操作

2. [INPUT]キーを押して「入力」ダイアログを表示する。

3. [▼]または[▲]キーを使って「ネットワーク」を選び、[ENTER]キーを押す。

4. LAN接続の待機画面右下に表示されるIPアドレス（「Server IP」の部分）を確認する。

- ここではプロジェクターのIPアドレスを192.168.100.10（プロジェクターの初期設定）とします。

パソコンの操作

5. パソコンのIPアドレスを192.168.100.XXXに変更する（XXXは1～9または11～254）。

- ここまでの操作で、プロジェクターとパソコンはLAN接続された状態になります。以降の操作は、パソコン画面をプロジェクターから投映するための操作です。

6. Network Connectionを起動する。

- Network Connectionウィンドウが現れ、「接続中」というメッセージが表示されます。
- Windows Vista、7、8、8.1または10をご使用の場合で「ネットワークの場所の設定」ダイアログが表示されたときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。
- 接続先のプロジェクターが見つかると、「プロジェクター一覧」ダイアログが表示されます。

7. 接続したいプロジェクターのIPアドレスをクリックして選択し、[OK]をクリックする。

- プロジェクターのIPアドレスは、投映画面（LAN接続の待機画面）左下の「Server IP」で確認してください。



8. 表示される「ログインコードを入力してください。」ダイアログで、ログインコードを入力する。



- 「ログインコード」欄には、投映画面（LAN接続の待機画面）左上の4桁の数字を入力してください。

9. 入力が済んだら、[OK]をクリックする。

- Network Connectionウィンドウが次のような表示になり、パソコン画面（メイン画面）がそのまま投映されます。



- Network Connectionウィンドウを使った操作について詳しくは、「Network Connectionを使う」（38ページ）を参照してください。

10. パソコン画面の投映を終了するには、Network Connectionウィンドウ右上の [X] をクリックする。

- Network Connectionウィンドウが閉じ、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。



メモ

- 上記の方法で接続したときに、ログインコードの入力を省略するように設定することが可能です。設定方法については、「コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには」（56ページ）を参照してください。

ルーターを介してプロジェクターとパソコンを有線LAN接続し投映するには



メモ

- 以下の操作は、ルーターが属するネットワーク上でDHCPサーバーが動作しており、かつパソコンがルーターにLAN接続済みであることが前提となります。

プロジェクターの操作

1. パソコンがLAN接続されているルーターに、プロジェクターをLANケーブルで接続する。

- ラジオやテレビジョン受信機などの受信障害を防止するため、LANケーブルは、シールド品（STP）の使用を推奨します。

2. プロジェクターの「IP設定」を「自動」にする。

- (1) [MENU]キー→「ネットワーク設定」→「本機の有線LAN設定」の順に選択し、IP設定ダイアログを表示する。
- (2) [◀]キーを押して、「IP設定」を「自動」にする。
- (3) [ESC]キーを押して「ネットワーク設定」に戻る。
- (4) 「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。
- (5) ネットワーク設定を更新してよいかを確認するダイアログが表示されるので、[▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。

パソコンの操作

3. 「プロジェクターとパソコンを直接LANケーブルで接続し投映するには」(35ページ)の手順6以降の操作を行う。

Network Connectionを使う

Network Connectionは、プロジェクターとパソコンをLAN接続したり、プロジェクターとLAN接続されたパソコンのディスプレイ映像や動画、音声を実プロジェクターに転送したりするためのアプリケーションです。

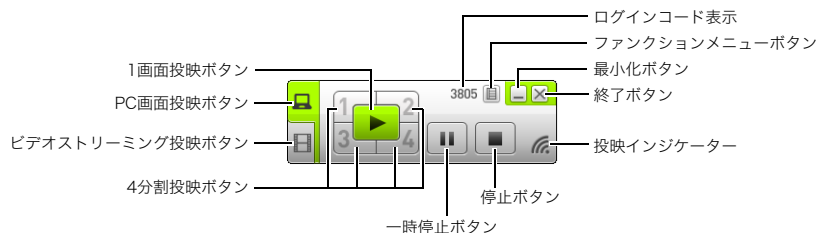


重要

- 以下の説明は、プロジェクターとパソコンがすでにLAN接続済みで、パソコンの画面がプロジェクターから投映されていることが前提です。ここでの操作を行う前に、「LAN接続でパソコンの画面を投映する」(9ページ)の説明に従ってプロジェクターとパソコンをLAN接続しておいてください。

Network Connectionウィンドウ

プロジェクターとパソコンがLAN接続中のとき、Network Connectionウィンドウは次のような表示になります。



Network Connectionの各種操作

Network Connectionのボタン操作

プロジェクターとパソコンがLAN接続中のとき、Network Connectionウィンドウの各ボタンを使って、次の操作が可能です。

これをするには：	このボタンをクリックする：
プロジェクターの投映画面全体を使ってパソコン画面を投映する(1画面投映)	 (1画面投映)
プロジェクターの投映画面の4分の1を使ってパソコン画面を投映する(4分割投映)	4分割投映ボタンのいずれか1つ ( ,  ,  , )※
パソコンから投映中の画面をフリーズする (画面を一時的に静止させる)	 (一時停止)
手元のパソコン画面表示はそのままにして、プロジェクターから動画を投映する (ビデオストリーミング投映)	 (ビデオストリーミング投映) 詳しくは「ビデオストリーミング投映を行う」(41ページ)を参照してください。
パソコン画面の投映を終了する	 (停止)
Network Connectionを終了する	 (終了)

※クリックした4分割投映ボタンの番号(1～4)に応じて、投映画面を4分割した左上(1)、右上(2)、左下(3)、右下(4)の位置にパソコン画面が投映されます。



Network Connectionのファンクションメニュー操作

プロジェクターとパソコンがLAN接続中のとき、Network Connectionのファンクションメニュー（ファンクションメニューボタンをクリックすると表示されるメニュー）の各項目を使って、次の操作が可能です。

これをするには：	このファンクションメニュー項目を選ぶ：	参照先：
投映画面の画質よりも表示速度を優先する	[投映設定]→[高速]	—
投映画面の表示速度よりも画質を優先する	[投映設定]→[高画質]	—
パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力する	[音声出力]	「パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力する」(41ページ)
メイン画面の投映から拡張画面の投映に切り替える※1	[投映画面の選択]→ [拡張画面]	—
拡張画面の投映からメイン画面の投映に切り替える※1	[投映画面の選択]→ [メイン画面]	
Network Connectionが起動中のパソコンを、スマートデバイスからリモート操作する	[PCリモート]	「スマートデバイスからパソコンをリモート操作する(PCリモート)」(43ページ)
プロジェクターのネットワーク設定を行う	[管理画面]	「プロジェクター管理ページを使う」(50ページ)
LAN接続でプロジェクターをリモート操作する	[管理画面]	「LAN接続でプロジェクターをリモート操作する」(60ページ)
プロジェクターの内蔵メモリーにファイルをアップロードする	[管理画面]	「プロジェクターの内蔵メモリーにファイルをアップロードする」(62ページ)
別のプロジェクターに無線LAN接続し直す	[サーバ検索]	「現在の無線LAN接続を切断して無線LAN接続し直すには」(44ページ)
USBメモリーにNetwork Connectionのコピーを作成する	[トークンウィザード]	「トークンウィザードを使う」(68ページ)
Network Connectionが記憶している接続先情報(パスフレーズ)を消去する	[初期化]	「Network Connectionが記憶している接続先情報(パスフレーズ)を消去するには」(44ページ)
LAN接続中のプロジェクターのIPアドレスとログインコードを表示する	[情報]	—
Network Connectionのバージョン情報を表示する	[このソフトウェアについて]	—
Network Connectionを終了する	[終了]	—

※1 Windows XP、Windows Vistaでは、これらの機能を有効にするためのドライバソフトウェアをインストールする必要があります。下記の「Windows用の追加ドライバソフトウェアについて」を参照してください。

Windows用の追加ドライバソフトウェアについて

WindowsでNetwork Connectionの一部の機能を利用するには、下記のドライバソフトウェアのインストールが必要です。入手方法は、弊社ウェブサイト (<http://casio.jp/support/projector/>) にてご確認ください。

この機能を利用するには：	このドライバソフトウェアをインストールする：
拡張画面出力機能	VDD ドライバー (Windows XP、Windows Vista用)

パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力する

LAN接続でパソコン画面をプロジェクターから投映しているときは、パソコンの音声もプロジェクターのスピーカーから出力させることが可能です。

- パソコンの音声をプロジェクターのスピーカーから出力するには、Network Connectionのファンクションメニューから[音声出力]を選び、このメニュー項目にチェックを付けます。
このとき、パソコンのスピーカーからは音声が出られなくなります。
- もう一度Network Connectionのファンクションメニューから[音声出力]を選んでこのメニュー項目のチェックを外すと、パソコンの音声はプロジェクターのスピーカーからでなく、パソコンのスピーカーから出力される状態に戻ります。



メモ

- Network Connectionの起動時は、常に[音声出力]メニューのチェックは外れた状態となります。

ビデオストリーミング投映を行う

Network Connectionで動画を再生し、その再生映像をプロジェクターにLAN経由で送信します。投映画面には動画の再生映像だけが表示され、手元のパソコン画面は通常のデスクトップとNetwork Connectionウィンドウが表示されたままになります。

再生可能ファイル一覧

AVI: 最大20Mbps 720/30P (MJPEG映像、ADPCM音声)

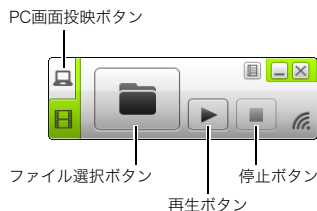
MOV: 最大20Mbps 1080/30P (H.264映像、ADPCM音声またはAAC音声)

MP4: 最大20Mbps 1080/30P (H.264映像、AAC音声)

ビデオストリーミング投映を行うには

1. Network Connectionウィンドウの (ビデオストリーミング投映)をクリックする。

- Network Connectionウィンドウの表示が次のような内容に切り替わります。



- パソコン画面を投映していた場合、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。(他のパソコンからの投映中だった場合は、この時点では投映画面は変化しません。)

2. (ファイル選択)をクリックする。

3. ファイル選択ダイアログが表示されるので、再生したい動画ファイルを選択し、[開く]をクリックする。

- 選択したファイルの再生が開始され、プロジェクターの全画面を使って動画が投映されます。

4. 再生を停止するには、 (停止)をクリックする。

5. 通常のパソコン画面の投映に戻るには、 (PC画面投映)をクリックする。



メモ

- 手順4で再生を停止した後で同じファイルを先頭から再生するには、 (再生)をクリックします。
- ビデオストリーミング投映は、常に投映画面の全体を使って行われます。通常のパソコン画面を投映する場合のように、投映画面を4分割した一部に投映することはできません。
- ビデオストリーミング投映時は、動画の音声は常にプロジェクターから出力されます。

スマートデバイスからパソコンをリモート操作する(PCリモート)

Network Connectionが起動中のパソコンを、スマートデバイスからリモート操作することが可能です。



重要

- この操作を行うには、ご使用のスマートデバイスにC-Assist(69ページ)をインストールしておく必要があります。

PCリモートを開始するには

1. 次のいずれかの操作を行って、パソコンの画面を無線LAN経由でプロジェクターに投映する。

- 「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)の手順1～11
- 「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)の手順1～13
- 「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)の手順1～13(すでにユーザーSSIDを作成済みの場合)

2. スマートデバイス上でC-Assistを起動し、次の操作を行う。

- (1)プロジェクターにログインする。
- (2)PCリモートの待機状態にする。

3. Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、表示されるメニューから[PCリモート]を選んで、[PCリモート]にチェックを付ける。

- スマートデバイスのタッチスクリーンに、パソコン画面の表示内容が現れます。
- この状態で、スマートデバイスのタッチスクリーンを使ったパソコンのマウス操作、およびスマートデバイスのタッチスクリーン上に表示したキーボードを使った入力/編集操作が可能です。

4. スマートデバイスからパソコンを操作する。

PCリモートを終了するには

Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、表示されるメニューから[PCリモート]を選んで、[PCリモート]のチェックを外します。

現在の無線LAN接続を切断して無線LAN接続し直すには

1. Network Connectionのファンクションメニューから[サーバ検索]を選ぶ。

- 現在の無線LAN接続が切断され、投映画面はLAN接続の待機画面に戻ります。

2. 次のいずれかの操作を行う。

- 「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)
- 「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)
- 「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)(ユーザーSSIDを作成済みの場合)

Network Connectionが記憶している接続先情報(パスフレーズ)を消去するには

1. Network Connectionのファンクションメニューから[初期化]を選ぶ。

2. 初期化の確認ダイアログが表示されるので、初期化するには[OK]を、初期化をやめるには[キャンセル]をクリックする。

3. Network Connectionを再起動する。



メモ

- 上記の操作を行うと、プロジェクターとパソコンの無線LAN接続は切断されます。無線LAN接続し直すには、次のいずれかの操作を行ってください。
 - ー「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)
 - ー「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)
 - ー「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)(ユーザーSSIDを作成済みの場合)

プロジェクターのネットワーク設定

プロジェクターのネットワーク設定には、プロジェクターだけで実施可能な基本部分と、プロジェクターとLAN接続したパソコンのWebブラウザを使って「プロジェクター管理ページ」にアクセスすることで実施可能な詳細設定があります。

- プロジェクターだけで実施可能な基本的なネットワーク設定については、「プロジェクターの設定メニューを使う」(下記)を参照してください。
- パソコンのWebブラウザを使った詳細なネットワーク設定については、「プロジェクター管理ページを使う」(50ページ)を参照してください。

プロジェクターの設定メニューを使う

プロジェクターの設定メニューに含まれる「ネットワーク設定」メインメニューを使って、プロジェクターと外部機器のLAN接続に関する次の情報表示や設定が可能です。

メニュー項目	内容	参照先
有線LAN情報	有線LAN接続関連の現在の状態(IPアドレス、DHCP設定など)を表示します。	「有線LAN情報を表示するには」(46ページ)
無線LAN情報	無線LAN接続関連の現在の状態(IPアドレス、DHCP設定、セキュリティ設定、外部アクセスポイントへの接続状態など)を表示します。	「無線LAN情報を表示するには」(46ページ)
本機の有線LAN設定	IPアドレス設定を行います。	「IP設定を変更するには」(48ページ)
本機の無線LAN設定	プロジェクターが無線LANアクセスポイントとして動作する際のSSIDの選択と、IPアドレス設定を行います。	「SSIDを変更するには」(47ページ) 「IP設定を変更するには」(48ページ)
リモートOn※	プロジェクターがスタンバイ状態(プロジェクターが通電中で電源オフの状態)のときに、LAN経由でプロジェクターの電源をオンにできるかどうかを指定します。	—
PJLink認証	PJLinkの接続認証の有効、無効を切り替えます。	—
ネットワーク設定の更新	本機の無線LAN設定を変更した後で、その変更内容をプロジェクターに反映させます。	—
ネットワーク設定の初期化	ネットワーク設定を工場出荷時の状態に戻します。	「ネットワーク設定を初期化するには」(49ページ)

※リモートOnが有効な状態と無効な状態では、プロジェクターの待機消費電力が異なります。それぞれの状態での待機消費電力については、「セットアップガイド」を参照してください。

以下の操作はすべてプロジェクター本体またはプロジェクターに付属のリモコンを使って行います。

有線LAN情報を表示するには

1. [MENU]キーを押して設定メニューを表示する。
2. [▼]キーを使って「ネットワーク設定」を選び、[ENTER]キーを押す。
3. [▼]キーを使って「有線LAN情報」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - 有線LAN情報ダイアログが表示されます。ダイアログに表示される情報の意味は次のとおりです。

項目名	意味
プロジェクト名	初期値は空欄(名前なし)です。「コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには」(56ページ)の操作で変更可能です。
MACアドレス	プロジェクトごとに固有の有線LANのMACアドレスです。
IPアドレス	プロジェクトに現在割り当てられているIPアドレスです。
DHCP	プロジェクトのDHCPサーバー機能の状態(「自動」または「無効」)が表示されます。

4. ダイアログを閉じて設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。

無線LAN情報を表示するには

1. [MENU]キーを押して設定メニューを表示する。
2. [▼]キーを使って「ネットワーク設定」を選び、[ENTER]キーを押す。
3. [▼]キーを使って「無線LAN情報」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - 無線LAN情報ダイアログが表示されます。ダイアログに表示される情報の意味は次のとおりです。

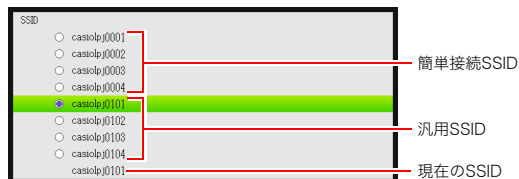
項目名	意味
SSID	プロジェクトの現在のSSID(外部機器からプロジェクトに無線LAN接続する際に使用するSSID)が表示されます。
ワイヤレスMACアドレス	無線アダプターごとに固有の無線LANのMACアドレスです。
IPアドレス	プロジェクトに現在割り当てられているIPアドレスです。
DHCP	プロジェクトのDHCPサーバー機能の状態(「自動」または「無効」)が表示されます。
セキュリティ設定	プロジェクトの現在のSSIDで使用している暗号化方式です。暗号化方式については「ユーザーSSIDを作成するには」の手順7(21ページ)を参照してください。
外部APのSSID	「ネットワーク設定」ページ(57ページ)の「外部アクセスポイント」が有効のときに表示される項目です。外部の無線LANアクセスポイントに接続している間はそのアクセスポイントのSSIDが表示され、それ以外の場合は「接続なし」と表示されます。
外部APとの接続状態	「ネットワーク設定」ページ(57ページ)の「外部アクセスポイント」が有効のときに表示される項目です。外部の無線LANアクセスポイントに接続している間は「接続中」、それ以外の場合は「切断中」と表示されます。

4. ダイアログを閉じて設定メニューの操作を終了するには、[MENU]キーを押す。

SSIDを変更するには

1. [MENU]キーを押して設定メニューを表示する。
2. [▼]キーを使って「ネットワーク設定」を選び、[ENTER]キーを押す。
3. [▼]キーを使って「本機の無線LAN設定」を選び、[ENTER]キーを押す。
4. 「SSID」が選ばれているのを確認し、[ENTER]キーを押す。

● 選択可能なSSIDの一覧が表示されます。



● ユーザーSSIDを作成済みの場合は、一覧にそのユーザーSSIDも表示されます。

5. [▲]、[▼]キーを使って希望するSSIDを選び、[ENTER]キーを押す。
 - 選択したSSIDの先頭に  が付きます。
6. [ESC]キーを2回押して「ネットワーク設定」に戻る。
7. [▼]キーを使って「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - ネットワーク設定を更新してよいか確認するダイアログが表示されます。
8. [▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - SSIDの変更がプロジェクターに適用され、ダイアログが消えます。

IP設定を変更するには

- 1. [MENU]キーを押して設定メニューを表示する。
- 2. [▼]キーを使って「ネットワーク設定」を選び、[ENTER]キーを押す。
- 3. [▼]キーを使って「本機の無線LAN設定」を選び、[ENTER]キーを押す。
- 4. [▼]キーを使って「IP設定」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - 上記手順3、4の代わりに次の操作も可能です。
[▼]キーを使って「本機の有線LAN設定」を選び、[ENTER]キーを押す。
- 5. 表示されるIP設定ダイアログで、次の設定を行う。

これをするには:	この操作を行う:
IPアドレスを自動的に取得するように設定する	「IP設定」を「自動」にする。
IPアドレスを手動設定する	「IP設定」を「手動」にし、IPアドレスを入力する(下記)。
IPアドレスを入力する	(1) [▼]キーを使って「IPアドレス」を選び、[ENTER]キーを押す。 ● IPアドレス入力ダイアログが表示されます。 111 . xxx . xxx . xxx xxx . 222 . xxx . xxx xxx . xxx . 333 . xxx xxx . xxx . xxx . 444 ◀ - 111 + ▶ ◀ - 222 + ▶ ◀ - 333 + ▶ ◀ - 444 + ▶ (2) [◀]、[▶]キーを使ってIPアドレスの第1オクテット(最初の3桁)の数値を指定する。指定が済んだら[▼]キーを押す。 (3) 手順(2)と同様に、第2～第4オクテットの数値を順次指定する。 ● 第1オクテットは1～223、第2、第3オクテットは0～255、第4オクテットは1～254の範囲の数値が指定可能です。この範囲外の値を指定すると、その数値がグレーで表示されます。そのまま手順(4)の操作を行うと、このダイアログに入る前のIPアドレスに戻ります。 (4) すべての数値の指定が済んだら[ESC]キーを押す。

- 6. 次の操作で「ネットワーク設定」に戻る。
 - 「本機の無線LAN設定」から操作した場合: [ESC]キーを2回押す。
 - 「本機の有線LAN設定」から操作した場合: [ESC]キーを1回押す。
- 7. [▼]キーを使って「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - ネットワーク設定を更新してよいか確認するダイアログが表示されます。

8. [▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。

- IP設定の変更がプロジェクトに適用され、ダイアログが消えます。



メモ

- 上記の操作で「IP設定」を「手動」にし、IPアドレスを入力した場合、DHCP設定(57ページ)は「自動」に切り替わります。またこのとき、DHCPの開始IPアドレスと終了IPアドレスが自動的に次のように設定されます。

例: 入力したIPアドレスが192.168.100.20の場合

開始アドレス: 192.168.100.21 (入力したIPアドレスの第4オクテットに1を加算)

終了アドレス: 192.168.100.254 (入力したIPアドレスの第4オクテットを254にする)

ただし、入力したIPアドレスの第4オクテットが253または254の場合は、開始アドレス、終了アドレスともに第4オクテットが254となります。

ネットワーク設定を初期化するには

1. [MENU]キーを押して設定メニューを表示する。

2. [▼]キーを使って「ネットワーク設定」を選び、[ENTER]キーを押す。

3. [▼]キーを使って「ネットワーク設定の初期化」を選び、[ENTER]キーを押す。

- ネットワーク設定を初期化してよいか確認するダイアログが表示されます。

4. [▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。

- ネットワーク設定が初期化され、ダイアログが消えます。

プロジェクター管理ページを使う

パソコンのWebブラウザで「プロジェクター管理」の次の各ページにアクセスし、プロジェクターの情報表示や設定、操作が可能です。

ページ	内容	参照先
システム状態	プロジェクターのファームウェアバージョンやネットワーク情報(IPアドレスなど)を表示します。	「システム状態を表示するには」 (55ページ)
コントロールパネル	次のネットワーク関連設定を行います。 プロジェクター名、ログインコードの使用/不使用の切り替え、ユーザー名の表示/非表示の切り替え、IEEE 802.11nの有効/無効の切り替え、チャンネル幅設定	「コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには」 (56ページ)
	プロジェクターをLAN経由で操作します。	「LAN接続でプロジェクターをリモート操作する」(60ページ)
ネットワーク設定	次のネットワーク関連設定を行います。 IPアドレスの設定、DHCPサーバー機能の有効/無効の切り替え、無線LAN接続関連設定(アクセスポイント機能の有効/無効の切り替え、SSIDの設定、暗号化設定など)、外部アクセスポイントへの接続設定	「ネットワーク設定ページのネットワーク関連設定を変更するには」 (57ページ)
パスワード変更	プロジェクター管理にログインする際のパスワードを変更します。	「プロジェクター管理ページへのログインパスワードを変更するには」 (58ページ)
設定の初期化	プロジェクター管理の全ページに含まれるすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	「プロジェクター管理ページに含まれるすべての設定を初期化するには」 (59ページ)
Crestronコントロール	プロジェクターをCrestronコントローラーに接続するための情報を入力します。	「Crestronコントローラーと接続するための情報を入力するには」 (59ページ)

無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン

プロジェクター管理ページには、Network Connectionを使ってパソコンをプロジェクターに無線LANで接続すれば、Network Connectionからの操作でログインすることが可能です。

無線LAN接続でプロジェクター管理ページにログインするには

1. 次のいずれかの操作を行って、プロジェクターとパソコンを無線LAN接続する。

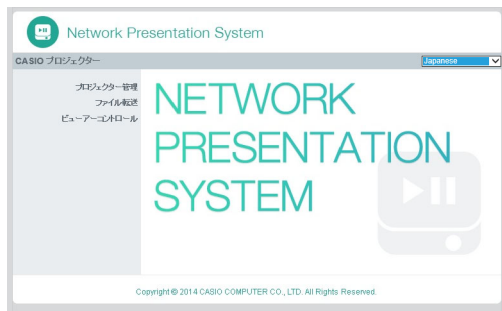
- 「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)の手順1～11
- 「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)の手順1～13
- 「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)の手順1～13(ユーザーSSIDを作成済みの場合)

2. Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、表示されるメニューから[管理画面]を選ぶ。

ファンクションメニューボタン



- Webブラウザが起動し、プロジェクターのトップページが表示されます。



3. 左ペインの「プロジェクター管理」をクリックし、表示されるパスワード入力画面でパスワードを入力する。

- パスワードの初期設定は「admin」です。

4. [ログイン]をクリックする。

- 正常にログインすると、「システム状態」ページが表示されます。

有線LAN接続によるプロジェクト管理ページへのログイン

Network Connectionを使わずに有線LAN接続でプロジェクト管理ページにログインすることもできます。

有線LAN接続でプロジェクト管理ページにログインするには

1. 次のいずれかの操作を行ってプロジェクトとパソコンを有線LAN接続する。

- 「プロジェクトのIPアドレスを基準にパソコンのIPアドレスを変更して有線LAN接続するには」(53ページ)
- 「パソコンのIPアドレスを基準にプロジェクトのIPアドレスを変更して有線LAN接続するには」(54ページ)
- 「ルーターを介してプロジェクトとパソコンを有線LAN接続するには」(55ページ)

プロジェクトの操作

2. [INPUT]キーを押して「入力」ダイアログを表示する。

3. [▼]または[▲]キーを使って「ネットワーク」を選び、[ENTER]キーを押す。

- LAN接続の待機画面が投映されます。

4. LAN接続の待機画面右下に表示されるIPアドレス(「Server IP」の部分)を確認する。

パソコンの操作

5. パソコンのWebブラウザを起動し、アドレス欄に「http://<上記の手順4で確認したIPアドレス>」を入力して[Enter]キーを押す。

- プロジェクトのトップページが表示されます。

6. 左ペインの「プロジェクト管理」をクリックし、表示されるパスワード入力画面でパスワードを入力する。

- パスワードの初期設定は「admin」です。

7. [ログイン]をクリックする。

- 正常にログインすると、「システム状態」ページが表示されます。

プロジェクターのIPアドレスを基準にパソコンのIPアドレスを変更して有線LAN接続するには

1. プロジェクターとパソコンをLANケーブルで直接接続する。

- ラジオやテレビジョン受信機などの受信障害を防止するため、LANケーブルは、シールド品（STP）の使用を推奨します。

プロジェクターの操作

2. プロジェクターのIP設定を「手動」に切り替える。

- (1) [MENU]キー→「ネットワーク設定」→「本機の有線LAN設定」の順に選択し、IP設定ダイアログを表示する。
 - 「IP設定」の初期設定は「自動」です。
- (2) [▶]キーを押して、「IP設定」を「手動」にする。
 - 「IPアドレス」の行に、プロジェクターのIPアドレスが表示されます。
- (3) [ESC]キーを押して「ネットワーク設定」に戻る。
- (4) 「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。
- (5) ネットワーク設定を更新してよいかを確認するダイアログが表示されるので、[▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。

パソコンの操作

3. パソコンのIPアドレスを、第1～第3オクテットはプロジェクターと同じ数値、第4オクテットは1～254の間でプロジェクターとは異なる数値を指定する。

- 例えばプロジェクターのIPアドレスが192.168.100.10(初期設定)の場合は、パソコンのIPアドレスは192.168.100.XXX(XXXは1～9または11～254)に変更します。

4. 「有線LAN接続でプロジェクター管理ページにログインするには」(52ページ)の手順2以降の操作を行う。

パソコンのIPアドレスを基準にプロジェクターのIPアドレスを変更して有線LAN接続するには



メモ

- 下記の操作はパソコンのIPアドレスがわかっている場合に行います。

1. プロジェクターとパソコンをLANケーブルで直接接続する。

- ラジオやテレビジョン受信機などの受信障害を防止するため、LANケーブルは、シールド品（STP）の使用を推奨します。

2. プロジェクターのIPアドレスを手動設定する。

- (1) [MENU]キー→「ネットワーク設定」→「本機の有線LAN設定」の順に選択し、IP設定ダイアログを表示する。

- 「IP設定」の初期設定は「自動」です。

- (2) [▶]キーを押して、「IP設定」を「手動」にする。

- (3) [▼]キーを使って「IPアドレス」を選び、[ENTER]キーを押す。

- IPアドレス入力ダイアログが表示されます。

111 . xxx . xxx . xxx	◀	-	111	▶
xxx . 222 . xxx . xxx	◀	-	222	▶
xxx . xxx . 333 . xxx	◀	-	333	▶
xxx . xxx . xxx . 444	◀	-	444	▶

- (4) [◀]、[▶]キーを使って、IPアドレスの第1オクテットの数値をパソコンのIPアドレスと一致させる。指定が済んだら[▼]キーを押す。

- (5) 手順(4)と同様に、第2～第4オクテットの数値を順次指定する。

- 第2、第3オクテットの数値はパソコンのIPアドレスと一致させます。

- 第4オクテットの数値は、1～254の間でパソコンとは異なる数値に変更します。

- (6) [ESC]キーを押して「ネットワーク設定」に戻る。

- (7) 「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。

- (8) ネットワーク設定を更新してよいかを確認するダイアログが表示されるので、[▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。

3. 「有線LAN接続でプロジェクター管理ページにログインするには」(52ページ)の手順2以降の操作を行う。

ルーターを介してプロジェクターとパソコンを有線LAN接続するには



メモ

- 以下の操作は、ルーターが属するネットワーク上でDHCPサーバーが動作しており、かつパソコンがルーターにLAN接続済みであることが前提となります。

1. パソコンがLAN接続されているルーターに、プロジェクターをLANケーブルで接続する。
 - ラジオやテレビジョン受信機などの受信障害を防止するため、LANケーブルは、シールド品（STP）の使用を推奨します。
2. プロジェクターの「IP設定」を「自動」にする。
 - (1) [MENU]キー→「ネットワーク設定」→「本機の有線LAN設定」の順に選択し、IP設定ダイアログを表示する。
 - (2) [◀]キーを押して、「IP設定」を「自動」にする。
 - (3) [ESC]キーを押して「ネットワーク設定」に戻る。
 - (4) 「ネットワーク設定の更新」を選び、[ENTER]キーを押す。
 - (5) ネットワーク設定を更新してよいかを確認するダイアログが表示されるので、[▲]キーを押して「はい」を選び、[ENTER]キーを押す。
3. 「有線LAN接続でプロジェクター管理ページにログインするには」（52ページ）の手順2以降の操作を行う。

プロジェクター管理ページにログインした後の各種操作

システム状態を表示するには

1. 「無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」（51ページ）を参照し、プロジェクター管理ページにログインする。
 - 「システム状態」ページが表示されます。ページ内に表示される情報の意味は次のとおりです。

項目名	意味
ファームウェアバージョン	プロジェクターのファームウェア（内蔵ソフトウェア）のバージョンです。
IPアドレス	プロジェクターに現在割り当てられているIPアドレスです。
サブネットマスク	プロジェクターに現在設定されているサブネットマスクの値です。
デフォルトゲートウェイ	プロジェクターに現在設定されているデフォルトゲートウェイです。
ワイヤレスMACアドレス	無線アダプターごとに固有の無線LANのMACアドレスです。
有線MACアドレス	プロジェクターごとに固有の有線LANのMACアドレスです。
投映状態	投映待機中：LAN接続による投映の待機中です。 投映中：LAN接続による投映中です。
ユーザー数	プロジェクターに投映中のユーザー数です。

2. プロジェクター管理ページからログアウトするには、「ログアウト」をクリックする。

コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには



重要

- コントロールパネルページのネットワーク関連設定は次の2つのグループに分かれます。
グループ1: プロジェクター名、ログインコード
グループ2: ユーザー名表示、IEEE802.11n (Wi-Fi)、チャンネル幅
下記の操作手順1回につき、同じグループに含まれる設定項目の変更だけを行ってください。異なるグループに含まれる設定項目の変更は、一度に実行することはできません。

1. 「無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」(51ページ)を参照し、プロジェクター管理ページにログインする。
2. 左ペインの「コントロールパネル」をクリックする。
3. 表示される「コントロールパネル」ページで、次の設定を行う。

これをするには:	この操作を行う:
プロジェクター名を変更する	「プロジェクター名」欄に半角英数字(記号を除く)16文字以内で入力する。
無線LAN接続時にログインコードの入力を要求するか、しないかを選択する	「ログインコード」の「有効」(ログインコードの入力を要求する)または「無効」(ログインコードの入力を要求しない)をクリックする。
プロジェクターに投映中のパソコンのユーザー名を投映画面に表示するか、しないかを選択する	「ユーザー名表示」の「オン」(表示する)または「オフ」(表示しない)をクリックする。
プロジェクターがスタンバイ状態のときに、LAN経由でプロジェクターの電源をオンにできるかどうかを指定する	「リモートOn※」の「有効」(電源をオンにできる)または「無効」(電源をオンにできない)をクリックする。
PJLinkの接続認証の有効、無効を切り替える	「PJLink認証」の「有効」または「無効」をクリックする。
無線LAN規格IEEE 802.11nの有効、無効を切り替える	「IEEE 802.11n (Wi-Fi)」の「有効」または「無効」をクリックする。
無線LANのチャンネル幅を自動設定にするか、固定値(20MHz)にするかを選択する	「チャンネル幅」の「20MHz」または「自動」をクリックする。

※ リモートOnが有効な状態と無効な状態では、プロジェクターの待機消費電力が異なります。それぞれの状態での待機消費電力については、「セットアップガイド」を参照してください。

4. 「コントロールパネル」ページで行った設定の変更をプロジェクターに反映する。

この項目の設定変更を反映するには:	このボタンをクリックする:
プロジェクター名、ログインコード	「ログインコード」の下の[適用]ボタン
ユーザー名表示、IEEE802.11n (Wi-Fi)、チャンネル幅	「チャンネル幅」の下の[適用]ボタン

- [適用]をクリックすると、設定の変更を反映するには再起動が必要です、という趣旨のダイアログが表示されます。

5. 設定変更を反映しプロジェクターを再起動してよい場合は、[OK]をクリックする。
 - 設定の変更をやめる場合は、[OK]をクリックせずに[キャンセル]をクリックします。
 - [OK]をクリックすると設定変更が反映されると同時にプロジェクターが再起動し、パソコンとプロジェクターのLAN接続は切断されます。

ネットワーク設定ページのネットワーク関連設定を変更するには

1. 「無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」(51ページ)を参照し、プロジェクター管理ページにログインする。
2. 左ペインの「ネットワーク設定」をクリックする。
3. 表示される「ネットワーク設定」ページで、次の設定を行う。

これをするには:	この操作を行う:
IPアドレスを外部のLAN機器から自動的に取得するように設定する	「IP設定」の「IPアドレスを自動的に取得」をクリックする。
IPアドレスを手動で設定する	(1) 「IP設定」の「次のIPアドレスを使用する」をクリックする。 (2) 「IPアドレス」欄に、プロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力する(初期値:192.168.100.10)。 (3) 「サブネットマスク」欄に、プロジェクターが属するネットワーク(サブネット)のIPアドレスの範囲を決めるための値を入力する(初期値:255.255.255.0)。 (4) 「デフォルトゲートウェイ」欄に、デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力する(初期値:192.168.100.10)。
プロジェクターがパソコンやスマートデバイスにIPアドレスを自動的に割り当てるように設定する	(1) 「DHCP設定」の「自動」をクリックする。 (2) 必要に応じて、自動的に割り当てるIPアドレスの範囲を指定する。 ● 「開始アドレス」と「終了アドレス」それぞれの第4オクテットに、11～254の範囲の値を入力します。 ● 第4オクテット以外の数値は変更できません。
プロジェクターがパソコンやスマートデバイスへのIPアドレス割り当てを行わないように設定する	「DHCP設定」の「無効」をクリックする。
パソコンやスマートデバイスからプロジェクターに無線LAN接続できるようにする(内蔵アクセスポイント機能を有効にする)	「無線設定」の「アクセスポイント機能」を「有効」にする。
パソコンやスマートデバイスからプロジェクターに無線LAN接続できないようにする(内蔵アクセスポイント機能を無効にする)	「無線設定」の「アクセスポイント機能」を「無効」にする。
ユーザーSSIDを作成する	「無線設定」の「SSID」、「セキュリティ」、「パスフレーズ/WEPキー」の各項目への入力や指定を行う。 詳しくは、「ユーザーSSIDを作成するには」(19ページ)の手順6～8を参照してください。
SSIDブロードキャストの有効/無効を切り替える	「無線設定」の「SSIDブロードキャスト」を「有効」または「無効」にする。
無線LAN通信時のチャンネルを指定する	「無線設定」の「チャンネル」欄右端の[▼]をクリックし、表示されるドロップダウンリストから1～11のいずれかのチャンネルを選ぶ。
無線LAN通信に使われるチャンネルが自動選択されるように設定する	「無線設定」の「チャンネル」欄右端の[▼]をクリックし、表示されるドロップダウンリストから「自動」を選ぶ。
プロジェクターを外部の無線LANアクセスポイントに接続する	「外部アクセスポイント」の「有効」をクリックし、必要な設定を行う。 詳しくは、「無線LANアクセスポイントにプロジェクターを接続するには」(29ページ)の手順6～9を参照してください。
プロジェクターを外部の無線LANアクセスポイントに接続しない	「外部アクセスポイント」の「無効」をクリックする。

4. 「ネットワーク設定」ページで行った設定の変更をプロジェクターに反映するには、[適用]をクリックする。
 - 設定の変更を反映するには再起動が必要です、という趣旨のダイアログが表示されます。
5. 設定変更を反映しプロジェクターを再起動してよい場合は、[OK]をクリックする。
 - 設定の変更をやめる場合は、[OK]をクリックせずに[キャンセル]をクリックします。
 - [OK]をクリックすると設定変更が反映されると同時にプロジェクターが再起動し、パソコンとプロジェクターのLAN接続は切断されます。

プロジェクター管理ページへのログインパスワードを変更するには



メモ

- 下記の操作で、ファイル転送ページへのログインパスワードも同時に変更することができます。ファイル転送ページについては、「プロジェクターの内蔵メモリーにファイルをアップロードする」(62ページ)を参照してください。
1. 「無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」(51ページ)を参照し、プロジェクター管理ページにログインする。
 2. 左ペインの「パスワード変更」をクリックする。
 - 「パスワード変更」ページが表示されます。

3. 「プロジェクター管理」以下の「新しいパスワード」と「パスワード再入力」各欄に、新しいパスワードを半角英数字8文字以内で入力する。
4. [適用]をクリックする。
5. 必要に応じて、下記操作でファイル転送ページへのログインパスワードを変更する。
 - (1) 「ファイル転送」以下の「新しいパスワード」と「パスワード再入力」各欄に新しいパスワードを入力する。
 - (2) [適用]をクリックする。
6. プロジェクター管理ページからログアウトするには、「ログアウト」をクリックする。

プロジェクター管理ページに含まれるすべての設定を初期化するには

1. 「無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」(51ページ)を参照し、プロジェクター管理ページにログインする。
2. 左ペインの「設定の初期化」をクリックする。
 - 「設定の初期化」ページが表示されます。
3. [適用]をクリックする。
 - 初期化を実行しプロジェクターを再起動してよいかを確認するダイアログが表示されます。
4. 初期化を実行しプロジェクターを再起動してよい場合は、[OK]をクリックする。
 - 初期化をやめる場合は、[OK]をクリックせずに[キャンセル]をクリックします。
 - [OK]をクリックすると初期化が実行されると同時にプロジェクターが再起動し、プロジェクターとパソコンのLAN接続は切断されます。

Crestronコントローラーと接続するための情報を入力するには

1. 「無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」(51ページ)または「有線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」(52ページ)を参照し、プロジェクター管理ページにログインする。
2. 左ペインの「Crestronコントロール」をクリックする。
3. 表示される「Crestronコントロール」ページで、次の各項目への入力を行う。

IPアドレス: CrestronコントローラーのIPアドレスを入力します。

IP ID: CrestronコントローラーのIP IDを入力します。

ポート: Crestronコントローラーとの通信に使用するポート番号を入力します(通常は41794)。
4. 入力内容をプロジェクターに反映するには[適用]をクリックする。
5. プロジェクター管理ページからログアウトするには、「ログアウト」をクリックする。

プロジェクター管理ページからログアウトするには

Webブラウザウィンドウ右上の「ログアウト」をクリックします。



クリックすると、プロジェクターのトップページに戻ります。

LAN接続でプロジェクターをリモート操作する

プロジェクターにLAN接続したパソコンなどの外部機器から、プロジェクターをリモート操作することが可能です。

LAN接続したパソコンからプロジェクターをリモート操作するには

1. 「無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」(51ページ)を参照し、プロジェクター管理ページにログインする。
2. 左ペインの「コントロールパネル」をクリックする。
 - 「コントロールパネル」ページが表示されます。

- 上記の枠線内が、プロジェクターのリモート操作に関連する項目です。これらの各項目について詳しくは、「コントロールパネルページのリモート操作関連項目一覧」を参照してください。
- 上記以外の項目(ネットワーク設定の各項目)については、「コントロールパネルページのネットワーク関連設定を変更するには」(56ページ)を参照してください。

3. リモート操作を終了するには、「ログアウト」をクリックしてプロジェクター管理ページからログアウトする。



メモ

- 本機は次の外部機器およびコマンドに対応しています。

外部機器およびコマンド	参照先
PJLink Class1 (バージョン1.00)の全コマンド	http://pjlink.jbmia.or.jp/
Crestron社のコントローラーおよびソフトウェア(RoomView®)のコマンド	http://www.crestron.jp/
AMX社のDevice Discovery	http://www.amx.com/

コントロールパネルページのリモート操作関連項目一覧

グループ	項目	表示情報／操作
更新(ボタン)		クリックすると、画面上の表示情報が更新されます。
プロジェクターの状態	プロジェクターの状態	プロジェクターの起動状態(「オン」または「スタンバイ」のいずれか)が表示されます。
	エラー情報	次のいずれかが表示されます。 エラーなし: 正常に動作しています。 温度エラー: 温度関係のエラーが発生しています。 ファンエラー: ファン関係のエラーが発生しています。 ライトエラー: 光源ユニット関係のエラーが発生しています。 その他のエラー: 上記以外のエラーが発生しています。
	電源オフ(ボタン)	プロジェクターの電源をオフします。
	電源オン(ボタン)	プロジェクターの電源を入れます。この操作は、「リモートOn」が「有効」の場合に限り可能です。
プロジェクターの制御	入力	入力ソースを切り替えます。
	カラーモード	カラーモードを切り替えます。
	ブランク	この項目を「オン」にすると、入力ソースからの映像が一時的に遮断されます。「オフ」にすると入力ソースからの映像が投映されます。
	アスペクト比	投映画面のアスペクト比を切り替えます。
	明るさ	入力ボックスに数値を入力し、[適用]ボタンをクリックすると、プロジェクターの「明るさ」設定が入力値に応じて変更されます。
	コントラスト	入力ボックスに数値を入力し、[適用]ボタンをクリックすると、プロジェクターの「コントラスト」設定が入力値に応じて変更されます。
	ライトコントロール	ライトコントロールの設定、およびライトコントロールオフモードの設定を切り替えます。
	音量	入力ボックスに数値を入力し、[適用]ボタンをクリックすると、入力値に応じた音量に変更されます。
	音声ミュート	消音設定を切り替えます。「オフ」のときは音声が出力され、「オン」を選ぶと音声出力が遮断されます。
	音声出力	音声をプロジェクターのスピーカーと音声出力端子のどちらから出力するかを切り替えます。 スピーカー: スピーカーから出力します。 ライン: AUDIO OUT端子から出力します。
	初期化(ボタン)	クリックすると、「プロジェクターの状態」を除くコントロールパネル上に含まれるすべての項目が、プロジェクターの工場出荷時状態に戻ります。

プロジェクターのファイルビューアー関連操作

ここではWebブラウザを使ってプロジェクターの内蔵メモリーにアクセスし、ファイルをアップロードしたり、削除したりする操作を行います。また、Webブラウザを使ったファイルビューアー操作についても説明します。

プロジェクターの内蔵メモリーにファイルをアップロードする

プロジェクターの内蔵メモリーにファイルをアップロードするには、プロジェクターのファイル転送ページへのログインが必要です。

ファイル転送ページへのログイン

ファイル転送ページには、Network Connectionを使ってパソコンをプロジェクターに無線LANで接続すれば、Network Connectionからの操作でログインすることが可能です。

Network Connectionを使わずに有線LAN接続で直接ファイル転送ページにログインすることもできます。

無線LAN接続でファイル転送ページにログインするには

1. 次のいずれかの操作を行って、プロジェクターとパソコンを無線LAN接続する。

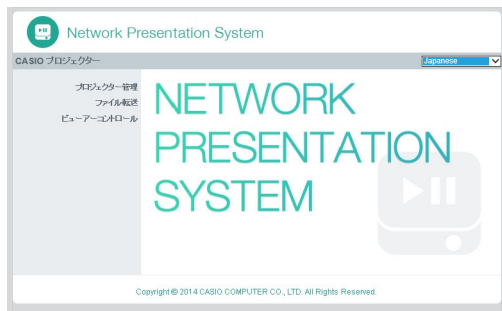
- 「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)の手順1～11
- 「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)の手順1～13
- 「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)の手順1～13(ユーザーSSIDを作成済みの場合)

2. Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、表示されるメニューから[管理画面]を選ぶ。

ファンクションメニューボタン



- Webブラウザが起動し、プロジェクターのトップページが表示されます。

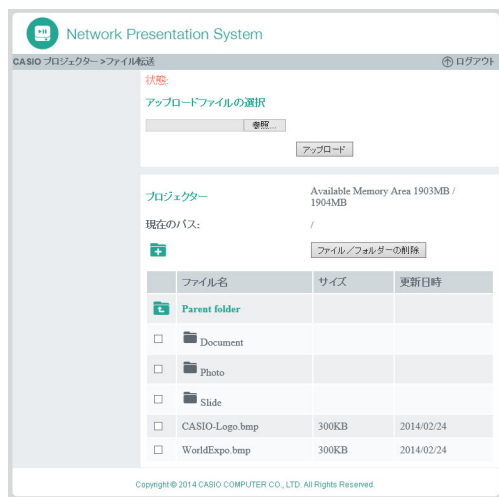


3. 左ペインの「ファイル転送」をクリックし、表示されるパスワード入力画面でパスワードを入力する。

- パスワードの初期設定は「admin」です。

4. [ログイン]をクリックする。

- 正常にログインすると、ファイル転送ページが表示されます。

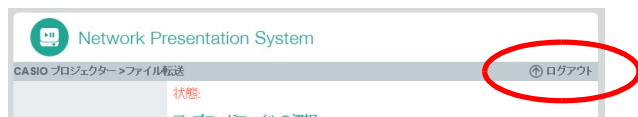


有線LAN接続してファイル転送ページにログインするには

「有線LAN接続でプロジェクター管理ページにログインするには」(52ページ)を参照してください。ただし手順6では、「プロジェクター管理」の代わりに「ファイル転送」をクリックしてください(パスワードの初期値は「admin」です)。

ファイル転送ページからログアウトするには

Webブラウザウィンドウ右上の「ログアウト」をクリックします。



クリックすると、プロジェクターのトップページに戻ります。

ファイル転送ページへのログインパスワードを変更するには



重要

- 以下の操作を行うには、プロジェクター管理ページへのログイン権限が必要です。

1. 「無線LAN接続によるプロジェクター管理ページへのログイン」(51ページ)を参照し、プロジェクター管理ページにログインする。
2. 左ペインの「パスワード変更」をクリックする。
 - 「パスワード変更」ページが表示されます。

3. 「ファイル転送」以下の「新しいパスワード」と「パスワード再入力」各欄に、新しいパスワードを半角英数字8文字以内で入力する。
4. [適用]をクリックする。
5. プロジェクター管理ページからログアウトするには、「ログアウト」をクリックする。

ファイル転送ページを使った操作

これをするには:	この操作を行う:
プロジェクターの内蔵メモリーにファイルをアップロードするには	(1) [参照](または[ファイルを選択])をクリックする。 ●「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。 (2) アップロードしたいファイル1つをクリックして選択する。 ● アップロードが可能なのは、プロジェクターのファイルビューアーで再生可能な形式のファイル(JPEG、PNG、GIF、BMP、AVI、MOV、MP4、ECA、PtG、PDF)です。 (3) [開く]をクリックする。 ●「ファイルを開く」ダイアログが閉じ、ファイル名が手順(1)でクリックしたボタンの右に表示されます(ご使用のWebブラウザによっては異なる位置に表示されることがあります)。 (4) 選択したファイルをアップロードするには、[アップロード]をクリックする。 ● 転送中はページ左上の「状態」の行に「ファイル転送中」と表示されます。転送が完了すると、表示が「完了」に変わります。 ● アップロードしたファイルの更新日時は、アップロードした日時になります。
プロジェクターの内蔵メモリー上のファイルやフォルダーを削除するには	(1) ファイラー一覧で、削除したいファイルやフォルダーのチェックボックスにチェックを付ける。 ● チェックボックスは10個まで付けることが可能です。 (2) チェックを付けたファイルやフォルダーを削除するには、[ファイル/フォルダーの削除]をクリックする。 (3) 削除してよいかを確認するダイアログが表示されるので、削除してよい場合は[OK]を、削除をやめるには[キャンセル]をクリックする。
現在表示中のフォルダー内に新規フォルダーを作成するには	(1)  をクリックする。 (2) 表示されるダイアログにフォルダー名を入力し、[OK]をクリックする。

プロジェクターのファイルビューアーを操作する

Webブラウザ上のボタン操作で、プロジェクターのファイルビューアーを操作します。

Viewer Controlページを表示する

「Viewer Control」ページには、Network Connectionを使ってパソコンをプロジェクターに無線LANで接続すれば、Network Connectionからの操作でパスワードの入力なしで表示することが可能です。Network Connectionを使わずに有線LAN接続でViewer Controlページを表示することもできます。

無線LAN接続でViewer Controlページを表示するには

1. 次のいずれかの操作を行って、プロジェクターとパソコンを無線LAN接続する。

- 「プロジェクターの簡単接続SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(13ページ)の手順1～11
- 「プロジェクターの汎用SSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(16ページ)の手順1～13
- 「ユーザーSSIDを使って無線LAN接続し投映するには」(22ページ)の手順1～13(ユーザーSSIDを作成済みの場合)

2. Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、表示されるメニューから[管理画面]を選ぶ。

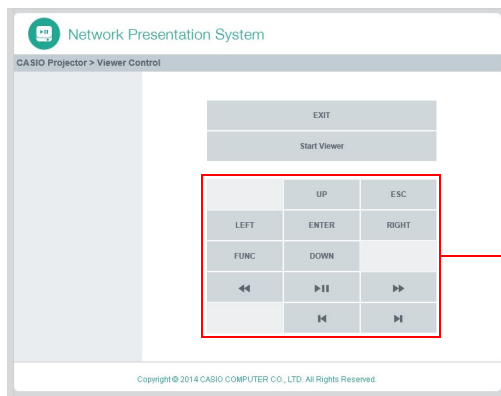
ファンクションメニューボタン



- Webブラウザが起動し、プロジェクターのトップページが表示されます。

3. 左ペインの「Viewer Control」をクリックする。

- 次のような「Viewer Control」ページが表示され、プロジェクターからはファイルビューアーのメイン画面が投映されます。以降の操作は「Viewer Controlページを使った操作」(67ページ)を参照してください。



これらのボタンは、ファイルビューアーの投映中にかぎり、プロジェクターに付属のリモコンの該当キーと同じ働きをします。

有線LAN接続してViewer Controlページを表示するには

「有線LAN接続でプロジェクター管理ページにログインするには」(52ページ)を参照してください。
ただし手順6では、「プロジェクター管理」の代わりに「Viewer Control」をクリックしてください。

Viewer Controlページからプロジェクターのトップページに戻るには

Webブラウザウィンドウ左上の「CASIO Projector」をクリックします。



Viewer Controlページを使った操作

これをするには:	この操作を行う:
ファイルビューアーの投映を開始する	[Start Viewer]をクリックする。
ファイルビューアーに対するリモコン操作を行う	[Start Viewer]以下の各ボタンをクリックする。 各ボタンはプロジェクターのリモコンの該当キーと同じ働きをします。ファイルビューアーの操作について詳しくは、活用ガイドの「ファイルビューアーを使った投映」を参照してください。
Viewer Controlページを終了し、プロジェクターのトップページに戻る	[EXIT]をクリックする※。

※ファイルビューアーの投映中に[EXIT]をクリックした場合でも、ファイルビューアーは終了しません。

トークンウィザードを使う

Network Connectionの「トークンウィザード」を使うと、USBメモリにNetwork Connectionのコピーを作成することができます。Network Connectionをインストールしていないパソコンでも、このUSBメモリ（「USBトークン」と呼びます）を接続すれば、Network Connectionの利用が可能となります。複数台のパソコンをプロジェクターと無線LAN接続したい場合は、2台目以降のパソコン用にUSBトークンを用意することをお勧めします。

USBメモリにNetwork Connectionをインストールするには



重要

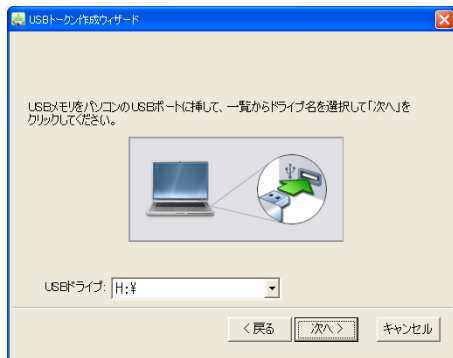
- 次の操作によってUSBメモリにNetwork Connectionをインストールすると、USBメモリのルートディレクトリに“autorun.inf”（Network Connectionの自動再生ファイル）が作成されます。もしUSBメモリのルートディレクトリにすでに同名のファイルが存在した場合は、既存のファイルのファイル名の末尾に“.bak”または3桁の番号（“.001”、“.002”…）が付加されます。
- 次の操作によってUSBメモリにNetwork Connectionをインストールすると、USBメモリの名前が「USB Token」に変更され、アイコンがに変更されます。

1. Network Connectionウィンドウのファンクションメニューボタンをクリックし、続いて[トークンウィザード]をクリックする。

- トークンウィザード画面が表示されます。

2. [次へ>]をクリックする。

- USBドライブの選択画面が表示されます。



- パソコンにUSBメモリが接続されていない場合は、「USBメモリを検出できませんでした」というメッセージが上の画面上に表示されます。この場合はパソコンにUSBメモリを接続し、「USBドライブ」欄にUSBメモリのドライブ名が表示されるまでお待ちください。

3. パソコンに複数のUSBメモリが接続されている場合は「USBドライブ」欄右端の[▼]をクリックし、インストール先のドライブ名を選択する。

4. [次へ>]をクリックする。

- 指定したUSBメモリーにNetwork Connectionがインストールされます。インストールが完了すると、「ウィザードは正常に終了しました。」という画面が表示されます。

5. トークンウィザード画面を閉じるには、[完了]をクリックする。

USBトークンを使ってパソコンをプロジェクターに無線LAN接続するには

USBトークンをパソコンのUSB端子に接続し、USBトークン内のNetwork Connectionアイコンをダブルクリックして起動します。後の操作は、パソコンにインストールされたNetwork Connectionを使う場合と同様です。



メモ

- USBトークンからNetwork Connectionを起動した場合、トークンウィザードは実行できません。

各種機器からの無線LAN接続による投映について

Mac OSからNetwork Connectionを使って投映する

Mac OS※¹ (Mac OS X 10.6、10.7、10.8、10.9、10.10)を搭載したコンピューターをプロジェクターに無線LAN接続して、コンピューター画面をプロジェクターから投映することができます。この操作を行うには、次のことが必要です。

- プロジェクターの操作で、プロジェクターのSSIDを汎用SSID(casiolpj0101、casiolpj0102、casiolpj0103、casiolpj0104)またはユーザーSSIDに変更する(47ページ「SSIDを変更するには」を参照)。
- Mac OSを搭載したコンピューター上でNetwork Connection※²を起動し、Network Connectionからプロジェクターへのログイン操作を行う。

※¹ Mac OSのバージョンによっては、利用可能な機能の制限があります。動作環境についての最新情報は、弊社ウェブサイトをご覧ください。

※² Mac OS用のNetwork Connectionは、下記の弊社ウェブサイトからダウンロードしてご利用いただけます。動作環境や操作についての詳細も、下記ページをご覧ください。

<http://casio.jp/support/projector/>

スマートデバイスからC-Assistを使って投映する

AndroidまたはiOSを搭載したスマートデバイスにC-Assist※をインストールすることで、スマートデバイス上の画像ファイルなどをプロジェクターから投映することができます。また、スマートデバイスを使って、プロジェクターと無線LAN接続しているパソコンをリモート操作することも可能です。こうした操作を行うには、次のことが必要です。

- プロジェクターの操作で、プロジェクターのSSIDを汎用SSID(casiolpj0101、casiolpj0102、casiolpj0103、casiolpj0104)またはユーザーSSIDに変更する(47ページ「SSIDを変更するには」を参照)。
- スマートデバイス上でC-Assistを起動し、C-Assistからプロジェクターへのログイン操作を行う。

スマートデバイスからMobiShowを使って投映する

MobiShowはAWIND社が開発したプロジェクターへの無線投映用クライアントソフトウェアで、Android、iOSを搭載したスマートデバイスに対応しています。MobiShowをインストールしたスマートデバイスをプロジェクターに無線LAN接続して、スマートデバイス上の画像ファイルなどをプロジェクターから投映することができます。この操作を行うには、次のことが必要です。

- ご使用のスマートデバイス用のMobiShowを入手し、スマートデバイスにインストールする。
 - インストール前に、弊社ウェブサイト (<http://casio.jp/support/projector/>) を参照し、ご使用のスマートデバイスのOSやバージョンに適合するMobiShowからプロジェクターへの接続が可能かどうかをご確認ください。
 - MobiShowは、お使いのスマートデバイスのアプリケーション配信サイト (Google Play、iTunes App Store等) から入手できます。
- プロジェクターの操作で、プロジェクターのSSIDを汎用SSID (casio1pj0101、casio1pj0102、casio1pj0103、casio1pj0104) またはユーザーSSIDに変更する (47ページ「SSIDを変更するには」を参照)。
- スマートデバイス上でMobiShowを起動し、MobiShowからプロジェクターへのログイン操作を行う。



メモ

- MobiShowは、スマートデバイス上のJPEGファイルまたはPtG2ファイル (PowerPointファイルを変換したファイル) の再生が可能です。PowerPointファイルからPtG2ファイルへの変換方法については、弊社ウェブサイト (<http://casio.jp/support/projector/>) を参照してください。

プロジェクターとパソコンの無線LAN接続について

現象	原因と対処
プロジェクターとパソコンを無線LAN接続できない。	● パソコン上でNetwork Connection以外の無線LANユーティリティが起動している場合は、終了します。 ● プロジェクターとパソコンの間の距離が離れている場合は、プロジェクターとパソコンをなるべく近づけます。また、壁などの遮蔽物は避けてください。 ● 近くで電子レンジやBluetooth機器など無線LANへの電波干渉を起こす可能性のある機器が動作している場合は、それらの機器を遠ざけます。 ● プロジェクターの電源が入っていない場合は、電源を入れます。 ● プロジェクターに無線アダプターが接続されていない場合は、正しく接続します(10ページ)。 ● パソコンの無線LAN機能がオフになっている場合は、オンに切り替えます。
プロジェクターとパソコン間の無線LAN通信が途絶えることがある。	● パソコン上でNetwork Connection以外の無線LANユーティリティが起動している場合は、終了します。 ● プロジェクターとパソコンの間の距離が離れている場合は、プロジェクターとパソコンをなるべく近づけます。また、壁などの遮蔽物は避けてください。 ● 近くで電子レンジやBluetooth機器など無線LANへの電波干渉を起こす可能性のある機器が動作している場合は、それらの機器を遠ざけます。
プロジェクターとパソコンを無線LAN接続できたが、パソコンの画面が投映されない。	● プロジェクターの入力ソースとして「ネットワーク」以外が選択されている場合は、[INPUT]キーを押して「ネットワーク」を選択します。 ● 「ネットワーク」が選択されているのにパソコン画面が投映されない場合は、パソコン上のNetwork Connectionウィンドウの (1画面投映)をクリックします。 ● プロジェクターのリモコンで [FREEZE] キーや [BLANK] キーを押して、プロジェクターの投映映像を静止中または遮断中の場合は、リモコンの [ESC] キーを押して静止/遮断状態を解除します。
投映映像が切り替わるのが遅い。	● Network Connectionのファンクションメニューボタンをクリックし、「投映設定」を確認してください。もし「高画質」になっている場合は、「高速」に切り替えます。 ● パソコン上で、使用していないアプリケーションをすべて終了します。 ● パソコンのOSがWindows Vista、7、8、8.1または10の場合は、Windows Aero™を無効にします。
複数のプロジェクターを同時に使っているとき、無線LAN接続がうまくいかない。	複数のプロジェクターで同じSSIDが使われていないかを確認し、同じSSIDが使われている場合はそれぞれ異なるSSIDを割り当てます。操作については「SSIDを変更するには」(47ページ)を参照してください。

プロジェクター管理ページについて

現象	原因と対処
Network Connectionからプロジェクター管理ページを呼び出そうとしたが、表示されない。	お使いのブラウザでプロキシサーバーを使用するように設定されていることが考えられます。プロキシサーバーが設定されていると、Web設定ページが表示されない場合がありますので、設定を解除してください。プロキシサーバーの設定については、お使いのブラウザのヘルプ等をご覧ください。
プロジェクター管理ページへのログインパスワードを忘れてしまった。	「ネットワーク設定を初期化するには」(49ページ)の操作を行い、プロジェクターのネットワーク設定を初期設定に戻します。

ファイル転送ページについて

現象	原因と対処
ファイル転送ページを使ってプロジェクトにアップロードしたファイルのファイル名が、アップロード前のファイル名よりも短い。	プロジェクターのファイルビューアーが表示可能なファイル名の長さは半角38文字以内なので、これよりも長いファイル名のファイルをアップロードすると、自動的にファイル名の半角38文字を超える部分は省略されます。 アップロード前後のファイル名を同一にしたい場合は、ファイル名を半角38文字以内にしてください。
ファイル転送ページを使ってプロジェクトにファイルをアップロードしている途中でネットワークが切断してしまった。直後にネットワークを接続し直してファイル転送ページを表示したところ、そのファイルがファイル一覧に表示された。	プロジェクターの内蔵メモリーにアップロードされたファイルは不完全な状態です。そのファイルをファイルビューアーで操作した場合、表示はできても一部のデータが欠落しているか、まったく表示できません。 プロジェクターの内蔵メモリー上のファイルを削除したうえで、アップロードし直してください。
ファイル転送ページの表示中にネットワークが切断してしまった。直後にネットワークを接続し直してファイル転送ページを表示したところ、ファイル一覧が空になってしまった。	一時的なファイル認識エラーの状態になっていることが考えられます。ファイル転送ページを表示していたWebブラウザをいったん終了し、「無線LAN接続でファイル転送ページにログインするには」(62ページ)または「有線LAN接続してファイル転送ページにログインするには」(63ページ)の操作をやり直してください。
ファイル転送ページの表示中にネットワークが切断してしまった。直後にプロジェクターのファイルビューアーで内蔵メモリーのファイル一覧を表示したところ、存在していたファイルが消えていた。	一時的なファイル認識エラーの状態になっていることが考えられます。次の操作を行ってください。 (1) プロジェクターの操作で、ファイルビューアーを終了する。 (2) プロジェクターの電源を切り、入れ直す。 (3) ファイルビューアーを起動し、内蔵メモリーのファイル一覧を表示する。 なお、ファイルビューアーで内蔵メモリーのファイル一覧を表示する操作については、活用ガイドの「内蔵メモリー上のファイルの投映を開始するには」を参照してください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA1602-A

© 2016 CASIO COMPUTER CO., LTD.